

平成31（令和元）年度
（2019年度）

業 務 年 報

大分県農林水産研究指導センター

平成31(令和元)年度(2019年度)業務年報

目 次

大分県農林水産研究指導センターの概要	1
1 農林水産研究指導センターの組織	1
2 試験研究課題の重点化と評価の徹底	2
3 情報発信機能の強化	7
4 試験研究機関の連携推進	9
5 研究員の資質向上	9
6 知的財産権の取得状況	14
7 九州大学との連携	15
8 受賞、学位取得の状況	16
9 主要な行事・会議等	16
10 各所属の業務・試験研究	17
11 予算概要	18
研究部・グループの概要	19
1 農業研究部	19
2 水田農業グループ	28
3 果樹グループ	32
4 花きグループ	38
5 畜産研究部	42
6 林業研究部	48
7 きのことグループ	53
8 水産研究部(北部水産グループ含む)	59
農林水産研究指導センター研究部・グループの所在地及び連絡先	66

大分県農林水産研究指導センターの概要

1. 農林水産研究指導センターの組織

平成17年4月に、農業、畜産、林業、水産の各試験研究機関を統合し、「農林水産研究センター」を設置した。その後の農林水産を取り巻く環境や情勢の変化を踏まえ、「産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業」を実現するため、現場ニーズに応えた研究、研究のスピード化、成果の迅速な普及をめざして研究指導体制を強化し、平成22年4月に「農林水産研究指導センター」に名称を変更した。また、環境対策をはじめ分野を超えた研究課題に対し、連携強化を図るため、農業・畜産・林業・水産の4研究部に再編するとともに、効率的・効果的な研究開発を行うため、チーム制を導入した。組織全体を統括するため、センター長、管理調整監、研究企画監、総務予算担当、研究企画担当を豊後大野市に配置した。

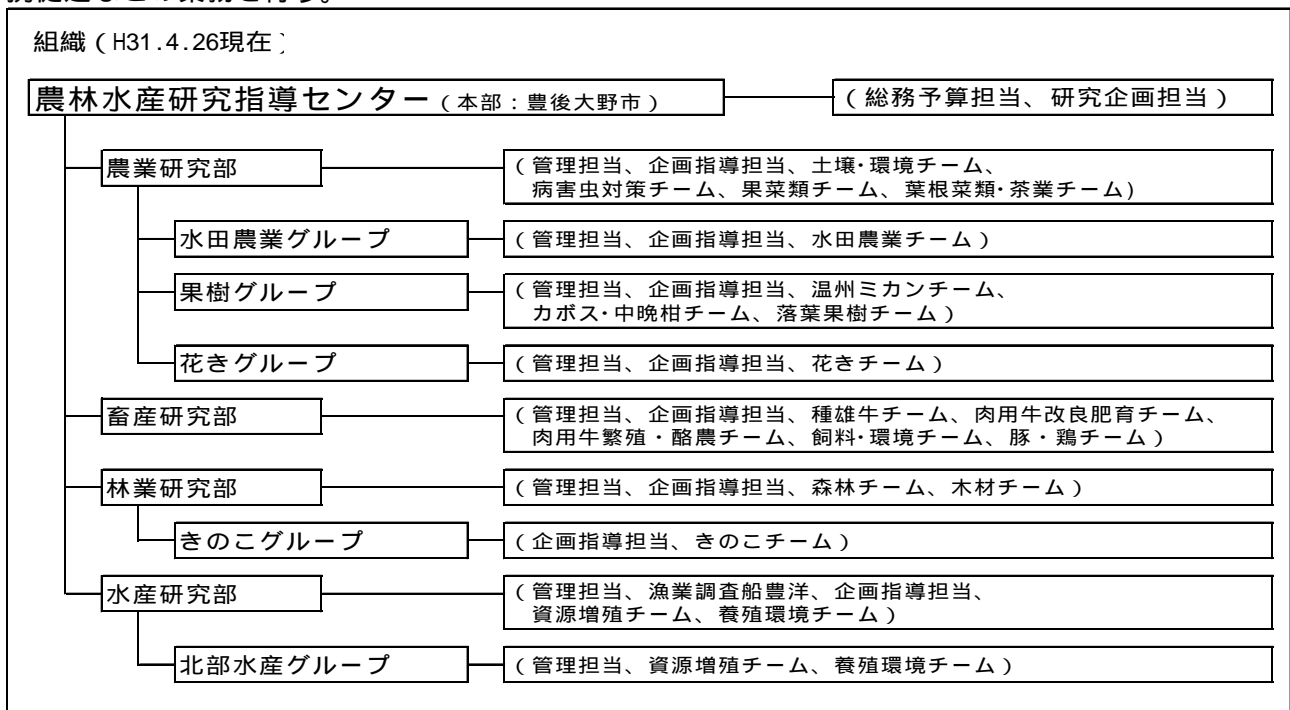
平成23年4月に宇佐市から農業研究部の「土壌・環境チーム」と「病害虫チーム」を、6月には「イチゴチーム」を豊後大野市に移転した。また、平成25年4月より、農業研究部の「ネギ類チーム」を、「ネギ・イモ類チーム」に、畜産研究部の「豊後牛改良チーム」を、「肉用牛改良肥育チーム」に、「肉用牛・酪農チーム」を、「肉用牛繁殖・酪農チーム」に名称変更した。さらに、畜産研究部の家畜伝染病防疫体制強化を図るため、新たに種雄牛舎を建設し、「種雄牛チーム」を新設した。

平成28年3月に「大分県農林水産試験研究基本指針」を作成し、「変化に対応し、挑戦と努力が報われる農林水産業を実現するための研究開発を行う」ことを基本理念として、成果の活用先（ターゲット）を明確にして経済性を重視した研究開発を行い、農林水産業の創出額増加に寄与することとした。

平成28年4月に、農業研究部の「病害虫チーム」を「病害虫対策チーム」に、「イチゴチーム」と「トマト・ピーマンチーム」を「果菜類チーム」に、「ネギ・イモ類チーム」と「茶業チーム」を「葉根菜類・茶業チーム」に、水田農業グループの「作物品種チーム」と「作物栽培チーム」を「水田農業チーム」に、平成31年4月に、浅海・内水面グループを北部水産グループの「栽培資源チーム」と「養殖環境チーム」に組織改正を行い、試験研究の効率化を図った。

今後も引き続き、研究員自らが普及指導員等と一緒に生産現場に赴き、開発した技術を生産者へ指導、技術実証を行うなど、普及指導体制の強化に取り組むこととしている。

なお、豊後大野市のセンター本部では、試験研究機関の予算の総合調整、研究課題の決定・進行管理、共同研究調整、知的財産取得・活用、課題評価・成果公表、研究員の資質向上、産学官交流・連携促進などの業務を行う。



農林水産研究指導センター各場所別職員配置表

平成31年4月26日現在

機関	事務吏員	技術吏員					技能職員 事務補佐	合計
		研究	行政	普及	海事	計		
農林水産研究指導センター(本部)	3		6			6		9
農業研究部	5	34	1	4		39	6	50
水田農業グループ	3	9	1	1		11	5	19
果樹グループ	1	14	1	2		17	5	23
花きグループ	1	8	1			9	4	14
畜産研究部	5	24	2	2		28	26	59
林業研究部	2	12	1			13	1	16
きのこグループ		6	1	2		9	1	10
水産研究部	3	17	1		7	25		28
北部水産グループ()	1	10	1			11		12
合計	24	134	16	11	7	168	48	240

(「浅海・内水面グループ」は平成31年(2019年)4月26日より「北部水産グループ」に改称)

2. 試験研究課題の重点化と評価の徹底

試験研究を効率的に実施するため、課題数を概ね100課題に厳選し、さらに試験研究のスピード化を図るため、研究期間を原則3年間以内としている。

また、現場ニーズを広く収集し、農林水産業の振興や県民生活の向上などに資する試験研究を行うために、ホームページや文書などで一般県民や生産者、関係団体などに試験研究課題に対する要望調査を行い、関係者等から189件の要望を収集した。

研究課題の設定にあたっては、収集した要望の中から試験研究として取組可能な課題を選定のうえ事前評価(部門別評価及び全体評価)を行い、さらに研究課題が決まった後には試験研究進行管理と事後評価(結果検討)を行った。なお、評価結果はホームページにて公表した。

(1) 事前評価

1) 試験研究課題調整会議

収集した要望の中から試験研究として取組可能な課題を選定するため、各所属単位で開催し、県民のニーズや政策的なニーズ、目標達成の可能性など全ての観点から、開発しようとする技術の内容や手法を精査し、次年度に向けた課題実施の適否について判断した。

2) 試験研究課題検討会

課題調整会議で絞り込んだ要望課題に対して、現場ニーズに合致した試験研究計画とするため、各所属単位で開催し、研究員、関係課・室、普及指導員、生産者代表等に出席を求め、研究実施の必要性、方法の適否、成果とその普及手法等について検討した。

3) 部門別評価会議：8月6日～7日

試験研究課題にかかる県庁関係課・室班総括、振興局の関係する班総括及び生産者団体の役職員を部門別評価者とする試験研究部門別評価会議により、「政策的妥当性」及び「試験研究開発効果」について評価を受けた。

4) 全体評価会議：9月5日

外部評価委員会(有識者、学識経験者、流通関係者、生産者代表)及び企画評価会議(部局横断的な視点から農林水産関係試験研究の企画戦略面での提言・助言を行う者)をもって構成する全体評価会議により、「研究課題の必要性」、「研究課題の社会的・経済的効果」及び「県が行う必要性」について評価を受けた。

令和元年度 大分県農林水産部試験研究外部評価委員

分野	委員名	役職等	選定理由等
経済界・学識	ふくやま きみひろ 福山 公博	(株)日本政策投資銀行大分事務所長	地域経営や地域づくりに関する豊富な情報を踏まえた評価が期待できる。
	もとや ぶり 本谷 るり	大分大学 経済学部教授 (経営組織論)	一次産業の経営戦略的な観点から研究課題の妥当性について評価が期待できる。
	たてまつ ようこ 立松 洋子	別府大学短期大学部 食物栄養科教授 学科長	食品、教育の造詣が深く、食育への取り組みを踏まえた評価が期待できる。
流通関係者	ながお きくお 長尾 喜久男	京都青果合同(株) 執行役員部長	大分県マーケティングアドバイザーであり、大消費地における商品化を踏まえた技術開発について助言と評価が期待できる。
	ふくやま ひろひさ 福山 博久	イオン九州(株) 九州商品開発部 農産グループマネージャー	大分県マーケティングアドバイザーであり、大消費地における商品化を踏まえた技術開発について助言と評価が期待できる。
生産者代表	(農業) むらかみ えり 村上 枝里	株式会社村上農園 取締役	にら経営(大分市最大) 栽培管理・出荷調整部門の責任者として自社農場の運営を行っており、生産性向上への技術改善に積極的に取り組んでいる。
	(農業) きむら ひさあ 木村 房雄	ハウスみかん生産者	大分県柑橘研究会会長 JAおおいた杵築地域柑橘研究会会長
	(畜産) うえき ようこ 植木 陽子	畜産農家	大分県農業協同組合の経営管理委員を歴任 知見が広く幅広い助言が期待できる。
	(林業) くどう よういち 工藤 洋一	久大林産(株) 代表取締役	認定林業事業体の取締役であり、主に素材生産、造林請負業を営んでいる。 大分県西部地域林材業労働安全対策連絡協議会委員 玖珠木材協同組合副理事長
	(水産) わたなべ ひでとし 渡邊 英敏	小型底曳網漁業者	大分海区漁業調整委員会委員 大分県漁業士連絡協議会会長 大分県漁協宇佐支店底曳網協議会会長

(平成31年4月1日現在)

5) 令和2年度研究課題の決定

部門別評価で総合得点60点以上の評価を得た新規候補課題については、次の全体評価に進むことができる(この時点で60点未満のものについては全体評価対象課題から除外となる)。今回、部門別評価を受けた新規候補課題数は18課題であり、すべての課題は総合得点が60点以上であり、全体評価の対象課題となった。

全体評価では、総合得点60点以上の評価を得た新規候補課題を令和2年度予算要求課題候補にすることとしており、今回、全体評価を受けた18課題はすべて総合得点が60点以上であった。

6) 推進本部会議による承認：9月19日

農林水産部長、審議監、関係課・室長、農業大学校長から構成される推進本部会議を開催し、全18課題について、令和2年度予算要求候補課題として承認された。

（2）事後評価（試験研究結果の検討）

現地移転の促進や次期試験研究計画の策定等に活かすため、各所属で試験研究終了の翌年度に試験研究結果検討会を開催し、研究目標等に対する達成状況について検証した。

（3）農林水産試験研究アドバイザー

各所属の内部会議等に招集するなど、大学や国立研究開発法人等の研究者や専門的な知識・経験を有する有識者などのアドバイザーから、新規研究課題に関して専門分野の技術的アドバイスを受けた。

大分県農林水産試験研究アドバイザー(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

部門	所 属 名	職 名	氏 名
土壌・環境	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 環境農学部 生産環境科学講座	教授	平館 俊太郎
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 土壌肥料グループ	グループ長	古賀 伸久
病害虫	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 病害グループ	グループ長	宮坂 篤
	一般社団法人 九州病害虫防除推進協議会	会長	山中 正博
野菜	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	教授	尾崎 行生
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域	園芸研究 領域長	山崎 篤
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室	農業技術 コミュニケーター	杉本 光穂
茶業	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域茶育種ユニット(枕崎茶業研究拠点)	上級研究員	吉田 克志
水田農業	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生産生態学講座 九州大学農学部附属農場	助教	安彦 友美
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 水田栽培グループ	グループ長	中野 洋
	三和酒類株式会社 取締役 統轄部長	取締役	高下 秀春
果樹	国立大学法人 鹿児島大学	名誉教授	富永 茂人
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	九州沖縄果樹 研究調整監	根角 博久
	国立大学法人 鳥取大学	理事 副学長	田村 文男
花き	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域	上級研究員	今村 仁
	東海大学 農学部	名誉教授	田中 孝幸
	宇田花づくり研究所	代表	宇田 明
畜産	国立大学法人 広島大学 大学院生物圏科学研究科	教授	島田 昌之
	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 農学部附属農場 高原農業実験実習場 家畜生産生態学講座	准教授	高橋 秀之
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 飼料生産グループ	グループ長	服部 育男
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 肉用牛生産グループ	グループ長	竹之内 直樹
林業	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場	育種課長	久保田 正裕
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林生態系研究グループ	主任研究員	野宮 治人
	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 環境農学部 持続可能な資源科学講座	准教授	藤本 登留
きのこ	国立大学法人 琉球大学 農学部 亜熱帯生物資源科学科 生物機能開発学分野 林産科学研究室	教授	高島 幸司
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林微生物管理研究グループ	主任研究員	宮崎 和弘
水産	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 西海区水産研究所 まぐろ増養殖研究センター 種苗量産グループ	主任研究員	森岡 泰三
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校 生物生産学科 生物環境学講座 藻場生態系保全研究室	教授	村瀬 昇
	国立大学法人 長崎大学 大学院 水産・環境科学総合研究科 環境科学領域	教授	井口 恵一朗

農研機構10名、森林機構3名、水研機構2名、大学11名、その他3名 合計29名

大分県農林水産試験研究アドバイザー(令和元年10月1日~令和2年3月31日)

部 門	所 属 名	職 名	氏 名
土 壤・環 境	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 環境農学部 生産環境科学講座	教授	平 館 俊 太 郎
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 土壌肥料グループ	グループ長	古 賀 伸 久
病 害 虫	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 病害グループ	グループ長	宮 坂 篤
	一般社団法人 九州病害虫防除推進協議会	会長	山 中 正 博
野 菜	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	教授	尾 崎 行 生
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域	園芸研究 領域長	山 崎 篤
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畑作研究領域 畑機械・栽培グループ	グループ長	石 井 孝 典
茶 業	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域茶育種ユニット(枕崎茶業研究拠点)	上級研究員	吉 田 克 志
水 田 農 業	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生産生態学講座 九州大学農学部附属農場	教授	望 月 俊 宏
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 水田栽培グループ	グループ長	中 野 洋
果 樹	国立大学法人 鹿児島大学	名誉教授	富 永 茂 人
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	九州沖縄果樹 研究調整監	根 角 博 久
	国立大学法人 鳥取大学	理事 副学長	田 村 文 男
花 き	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域	上級研究員	今 村 仁
	東海大学 農学部	名誉教授	田 中 孝 幸
	宇田花づくり研究所	代表	宇 田 明
畜 産	国立大学法人 広島大学 大学院生物圏科学研究科	教授	島 田 昌 之
	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 農学部附属農場 高原農業実験実習場 家畜生産生態学講座	准教授	高 橋 秀 之
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 飼料生産グループ	グループ長	服 部 育 男
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 肉用牛生産グループ	グループ長	竹 之 内 直 樹
林 業	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場	育種課長	久 保 田 正 裕
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林生態系研究グループ	主任研究員	野 宮 治 人
	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 環境農学部 持続可能な資源科学講座	准教授	藤 本 登 留
き の こ	国立大学法人 琉球大学 農学部 亜熱帯生物資源科学科 生物機能開発学分野 林産科学研究室	教授	高 島 幸 司
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林微生物管理研究グループ	主任研究員	宮 崎 和 弘
水 産	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学分野 生物機能分子化学講座 水族生化学分野	副研究院長	中 尾 実 樹
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所 海産無脊椎動物研究センター	センター長	太 田 健 吾
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校 生物生産学科 生物環境学講座 藻場生態系保全研究室	教授	村 瀬 昇

農研機構10名、森林機構3名、水研機構2名、大学11名、その他2名 合計28名

3. 情報発信機能の強化

(1) 研究Now

研究成果等を「研究 Now」と題してホームページに月1回のペースで掲載し、研究内容を分かりやすく紹介した。

Vol.	公表日	所属	タイトル
87	2019年(平成31年)4月2日	水産研究部	緑色LED光照射によるヒラメ養殖の効率化
88	2019年(令和元年)5月8日	農業研究部	次世代型土壌水分センサーを活用して小ネギ栽培の「見える化」に取り組んでいます
89	2019年(令和元年)6月28日	畜産研究部	水分の異なるもみサイレージの長期保存性の比較
90	2019年(令和元年)7月29日	花きグループ	ホオズキウイルス病に対する弱毒ウイルス(植物ワクチン)の利用
91	2019年(令和元年)8月30日	農業研究部	ネギ白絹病のフルトラニル耐性菌の確認
92	2019年(令和元年)9月26日	きのこグループ	菌床シイタケ発生温度の見直しで夏期の電気使用量を削減
93	2019年(令和元年)10月30日	林業研究部	木材の美観を損ねる栈木痕(さんぎこん)の改善
94	2019年(令和元年)11月27日	農業研究部	排液センサによるイチゴのかん水・肥管理技術の確立
95	2019年(令和元年)12月24日	水田農業グループ	しょうゆ・パン用小麦 新品種「はるみずき」を認定品種へ採用しました!
96	2020年(令和元年)1月30日	畜産研究部	期待される藤良系種雄牛(「隆之森」・「隆白鳥」)の紹介
97	2020年(令和元年)2月28日	北部水産グループ	とても手軽! 潮間帯で地ガキの天然採苗!
98	2020年(令和元年)3月19日	果樹グループ	ナシ「流線型仕立栽培」の初期の肥培管理を明らかにしました!

(2) 普及カード

各研究部・グループが実施した研究のうち、生産現場に普及すべき成果(平成30年度年度までに成果が得られたもの)を「平成30年度普及カード」として生産者及び関係者向けに作成しホームページで情報提供を行った。

No.	所属	普及カード タイトル	試験研究課題名	試験年度	公開	資料	
1	農業研究部	垂リン酸施用による葉菜類の生育向上	垂リン酸肥料を用いた夏秋ピーマン安定生産技術の確立	H28～30			
2		大分式かん水施肥栽培装置の操作マニュアル作成	-	-			
3		単肥配合プログラム量の管理版 Ver. 5 の配布	-	-			
4		ドローン農業散布における水稲、麦、大豆に対する防除効果	ドローンを利用した病害虫の防除効果の解明	H30			
5		二番茶における摘採適期の予測技術について	ドリンク茶栽培における収量・品質向上のための総合的管理技術の確立	H28～H30			
6		水田農業グループ	酒造好適米有望品種「吟のさと」を選定	県産米利用拡大に向けた酒米生産技術の確立	H28～H30		
7			酒米有望品種「吟のさと」の栽培法	県産米利用拡大に向けた酒米生産技術の確立	H28～H30		
8			大豆雑草防除雑草「カロライナツクサ」の防除体系の確立	生育制御と雑草防除による大豆の高位安定生産技術の確立	H27～H31		
9		果樹グループ	「大分果研4号(ゼリーオレンジ・サンセレブ)」の無加温栽培について	無加温ハウスに適したカンキツの品種選定及び栽培技術の確立	H28～H30		
10			温州ミカン「おおいた早生」の樹冠表層摘果による日焼け果発生軽減	温暖化に対応したカンキツの品種選定及び栽培技術の確立	H26～H30		
11			カボスの反射資材敷設による果皮緑色向上	グリーンカボス安定出荷に対応した技術開発～産地から店頭まで～	H28～H30		
12		花きグループ	スイートピーの品種育成	スイートピーの安定生産技術の確立とオリジナル品種の育成	H28～H30		
12	畜産研究部	黒毛和種における短期肥育技術の確立	黒毛和種における短期肥育技術の確立	H29～H30			
13		豚肉のオレイン酸簡易測定システムの開発	食肉脂質測定装置を用いた豚肉脂質測定システムの開発と豚肉脂肪中のオレイン酸含有率向上技術の確立	H28～H30			
14	林業研究部	「栈木痕(さんぎこん)」の発生を抑制するスギ板材乾燥技術の開発	「栈木痕(さんぎこん)」の発生を抑制するスギ板材乾燥技術の開発	H29～H30			
15		きのこグループ	菌床シイタケ栽培における夏期発生温度の検討	菌床シイタケ栽培の省エネルギー制御技術の開発-夏期の発生温度管理の検討-	H27～H29		
16	水産研究部	豊予海峡周辺におけるマアジの資源生態に関する研究	資源管理関係事業(アジ・サバ)	-			

(3) 刊行物等の発行

センターの取組を刊行物またはホームページにて広報した。

刊行物誌名	刊行年月	頁数	部数	備考
平成30年度業務年報	令和元年7月	65	HP掲載のみ	
試験研究成果2018	令和2年3月	3	HP掲載のみ	

(4) 農林水産研究タイムリー情報

一定の成果が得られた報告(普及カードや研究Now等)以外の日常的な取組(トピックス等)を「農林水産研究タイムリー情報」として県庁ホームページに掲載を平成29年8月から開始した。
 なお、平成31年度の実績は以下のとおりである(計238件発信)。

農業129件(農業研究部70件、水田農業グループ18件、果樹グループ27件、花きグループ14件) 畜産 20件(畜産研究部20件) 林業 38件(林業研究部17件、きのこグループ21件) 水産 51件(水産研究部24件、北部水産グループ27件)	2020.3.31まで
---	-------------

(5) 農林水産研究指導センター研究状況報告会及び知事報告

試験研究活動や成果を知事・副知事及び県庁職員へ広く情報を提供するために実施した。

年月日	場所	課題	主な聴講者
令和元年 9月10日	県庁舎本館 91会議室	第1回研究状況報告会 カンキツ「あすみ」果実の裂果発生抑制技術の開発 (果樹グループ 温州ミカンチーム 主幹研究員(TL) 吉澤 栄一) 県産杉パークと水稻育苗箱を活用した極少量培地栽培技術の開発と産地化 (花きグループ 花きチーム 主幹研究員(TL) 佐保 学) 生産者の所得向上を目指した雌雄産み分け技術の確立 (畜産研究部 肉用牛繁殖・酪農チーム 研究員 池堂 萌果) 緑色LED光を利用したヒラメ養殖の効率化 (水産研究部 養殖環境チーム 主任研究員 都留 久美子) 県内農産物の鮮度保持技術の開発と低温流通体系の実用化 (産業科学技術センター 食費産業担当 研究員 安部 良樹)	副知事、 部長、審議監、 関係課・室長他 (計47名)
令和元年 12月20日	県庁舎別館 91会議室	第2回研究状況報告会 天敵を利用した害虫防除体系の構築 (農業研究部 病害虫対策チーム 主幹研究員(TL) 佐藤 通浩) 播種適期の拡大と排水対策による麦類の収量安定 (水田農業グループ 水田農業チーム 主幹研究員 下村 真一郎) 県産スギ大径材の有効利用技術に関する研究 (林業研究部 木材チーム 主幹研究員 山本 幸雄) 新ブランドの創出に向けた乾シタケの味覚と機能性に関する研究 (きのこグループ きのこチーム 主幹研究員(TL) 飯田 智恵美) ころばぬ先の資源管理～ハモのモデルケース～ (北部水産グループ 資源増殖チーム 主任研究員 白樫 真)	副知事、 部長、審議監、 関係課・室長他 (計44名)
平成31年 1月23日	知事室 第一応接室	知事報告 県産杉パークと水稻育苗箱を活用した極少量培地栽培技術の開発と産地化 (花きグループ 花きチーム 主幹研究員(TL) 佐保 学) ころばぬ先の資源管理～ハモのモデルケース～ (北部水産グループ 資源増殖チーム 主任研究員 白樫 真) 上記の他に、農業普及関係の2課題が報告された。	知事、 部長、 センター長、 所属長、 関係課・室長他

4. 試験研究機関の連携推進

県内の試験研究機関の機能強化、技術向上及び業務の効率化等の円滑な運営を図るため、各機関が総合的かつ有機的な連携体制を構築することを目的として、平成22年度に衛生環境研究センター、産業科学技術センター、農林水産研究指導センターの3機関で大分県試験研究機関連携会議を設置した。今年度、新たに警察本部 刑事部 科学捜査研究所を加えた4機関の体制となった。

なお、令和元年度の事務局は産業科学技術センターであり、下記のとおり4機関の連携を深めた。(令和2年度の事務局は農林水産研究指導センター)

開催日	場所	内容
令和1年7月18日	産業科学技術センター	本年度の活動体制・内容確認の打合せ会議
令和1年8月20日	産業科学技術センター 科学捜査研究所(見学会)	令和1年度第1回大分県試験研究機関連携会議 (平成30年度事業報告、令和1年度事業計画、科学捜査研究所見学)
令和2年3月16日	産業科学技術センター	令和1年度第2回大分県試験研究機関連携会議 (令和1年度事業報告、意見交換)SDGsを考える研修会(延期)

5. 研究員の資質向上

研究課題解決のための高度な技術の習得及び資質向上のため研究員の研修を実施した。

(1) 短期派遣研修

所属	役職	氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修課題
農業研究部	研究員	香月 望	日本分析化学会九州支部	福岡県	2019年8月8日～9日 (2日間)	農産物の栄養・機能性成分分析のために用いるHPLCの操作手法等を習得する。
農業研究部	研究員	小野 紘平	九州沖縄農業研究センター	福岡県	2019年11月5～8日、2020年1月20～23日(8日間)	九州沖縄農業研究センターのイチゴ育種専門家に知識や技術の習得を直接指導を受けることで、大分県の育種レベルの向上に資することを目的とする。
農業研究部	研究員	加藤 貴浩	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農業技術革新工学研究センター	埼玉県	2019年8月5日～7日 (3日間)	マルチコプターを活用した白ねぎ等露地野菜の生育診断技術の開発手法を習得する。
農業研究部	主任研究員	田中 とも子	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構	栃木県	2019年11月27日～29日 (3日間)	量子ビームを活用したイチゴの品種改良技術の開発手法を習得する。
水田農業グループ	研究員	清田 梨華	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 筑波産学連携支援センター	茨城県	2019年11月6日～8日 (3日間)	農業生産現場において、新技術の導入効果を経営評価する手法を取得する。
果樹グループ	主幹研究員	矢野 拓	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 カンキツ研究興津拠点	静岡県	2019年10月24日～25日 (2日間)	ハウスミカン着花予測手法を高度化する。
花きグループ	主幹研究員	甲斐 克明	九州大学熱帯農学研究センター 熱帯作物・環境部門	福岡県	2019年12月23～26日 (4日間)	花卉からの色素抽出法、液体クロマトグラフィーを用いた色素分析法について習得する。
畜産研究部	研究員	本田 香朱美	広島大学 大学院生物圏科学研究科	広島県	2019年8月26日～9月6日 (12日間)	LED光線管理による効率的豚人工授精法の確立の取り組みを開始するにあたり、雌豚の繁殖能力を向上することを確認のため「内分泌系ホルモンのモニタリング調査方法」の技術習得
畜産研究部	研究員	寺山 将平	(独法)家畜改良センター	福島県	2019年11月5日～15日 (11日間)	種雄牛の選抜にゲノム育種値を活用するため、現在未選抜の種雄候補牛や改良基礎雌牛についてillumina BovineLD SNPチップ解析を実施し、ゲノム育種値を算出する。
畜産研究部	研究員	林 佑亮	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門	茨城県	2020年2月26日～28日 (3日間)	トリDNA抽出技術の習得
水産研究部	研究員	村瀬 直哉	養殖衛生対策推進協議会(社)日本水産資源保護協会	東京都	2019年6月23日～7月3日 (11日間)	養殖衛生管理技術者として必要な知識、技術の習得(養殖業の経営安定、及び安全・安心な養殖業等について)
水産研究部	研究員	鈴木 翔太	(国研)水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所屋島庁舎	香川県	2019年12月3～5日 (3日間)	養殖衛生管理技術者として必要な知識、技術の習得(養殖業の経営安定、及び安全・安心な養殖業等について)
水産研究部	主幹研究員	内海 訓弘	(国研)水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所	広島県	2019年10月28日～10月31日(4日間)	赤潮発生監視、予察及び防除手法の高度化
水産研究部	主任研究員	都留 久美子	(国研)水産研究・教育機構 東北水産研究所	岩手県	2020年1月21日～23日 (3日間)	LED光線管理による効率的生育
北部水産グループ	研究員	西 陽平	養殖衛生対策推進協議会(社)日本水産資源保護協会	東京都	2019年6月23日～7月3日 (11日間)	養殖衛生管理技術者として必要な知識、技術の習得(養殖業の経営安定、及び安全・安心な養殖業等について)
北部水産グループ	主任研究員	白樫 真	長崎県総合水産試験場、佐賀県玄海水産振興センター、東北大学附属複合生態フィールド教育研究センター、北海道函館水産試験場	複数場所	2019年11月25日～26日、2019年12月2日～5日、2020年2月6日～7日 (延べ3回8日間)	効率的な放流手法の開発のため、DNA標識によるナマコ等種苗放流効果の検証

(2) 長期派遣研修

該当者なし

(3) 新規採用研究員研修

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H31.4.15	県庁舎本館 8階81会議室	新採研究員14名	講演 「大分県農林水産業の現状と農林水産研究指導センターの概要・役割について」 講師 農林水産研究指導センター 田中 秀幸 研究企画監 講演 「研究員としての心構えについて」 講師 農林水産研究指導センター 林 浩昭 研究指導顧問 質疑・意見交換

(4) 現場体験研修

所属	役職	氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修内容
農業研究部	研究員	村上 圭	農家 (茶生産)	豊後大野市	令和元年6月27日、7月1日～4日(5日間) 令和元年9月3日～6日(4日間)	二番茶期:乗用摘採機による摘採、製茶工場での荒茶加工、仕上げ加工、梱包作業 秋冬番茶期:製茶工場での荒茶加工、仕上げ加工、梱包作業
果樹グループ	研究員	那須 翔太	農家 (柑橘生産)	日出町	令和元年11月18日～12月13日(うち12日間)	ハウス不知火収穫作業、ハウス内防除および施肥、収穫後の枝吊りヒモ片付け、ハウス内土壌改良
果樹グループ	研究員	五島 遼太郎	農家 (柑橘生産)	津久見市	令和2年2月13日～3月6日(うち12日間)	露地カンキツの剪定作業、出荷・包装作業 ハウス内施肥作業、露地カンキツ苗木植付作業
畜産研究部	研究員	林 佑亮	会社 (食品製造販売)	大分市	令和元年7月8日～12日(5日間)	食鳥処理場研修、農場研修、工場研修、営業研修等
林業研究部	研究員	河津 温子	会社 (苗木生産)	日田市	令和元年8月1日～令和2年3月6日(うち8日間)	マツノセンザイチユウ接種作業、採穂・整穂・さし付け作業、出荷準備、裸苗の堀取り、規格分け、仮植え、種処理、切り戻し作業、接木、鉢上げ作業、直播き、剪定作業
水産研究部	研究員	鈴木 翔太	養殖漁家 (ブリ養殖)	佐伯市	令和元年7月18日～11月29日(うち10日間)	ブリ種苗ワクチン打注、ブリ給餌見学、ブリ出荷手伝い
水産研究部	研究員	村瀬 直哉	養殖漁家 (ヒラメ養殖)	佐伯市	令和元年12月6日～令和2年3月26日(うち6日間)	ヒラメ稚魚飼育管理、餌料作成、出荷作業等

(5) 若手研究員研修

若手研究員に対して、本県の農林水産業を取り巻く情勢、他研究部・グループでの研究内容及び研究に対する心構え等について理解を深めるとともに、先輩研究員からの講演を通じ、若手研究員の意欲を高め、幅広い観点から試験研究遂行能力の向上を図るため研修を行った。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
R元.12.10	花きグループ会議室	概ね35歳以下の若手研究員等 40名	テーマ「研究員の学位取得を通じたスキルアップへ～男性研究員の体験を通じて～」 講演 「研究員の学位取得を通じたスキルアップ」 講師 福岡県農林業総合試験場 農産部 麦類育種チーム チーム長 甲斐 浩臣 氏 講演 「研究キャリアー(Career)の基盤と継続」 講師 農林水産研究指導センター 林 浩昭 研究指導顧問 意見交換

(6) 中堅研究員研修

中堅研究員を対象に、民間企業や関係機関の方との意見交換を実施し、視野を広げ、試験研究企画及び自己開発能力の向上を目的に毎年研修を実施しているが、今年度は新型コロナウイルスの影響により中止となった。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
今年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止となったため、参考までに当初計画について記載します。		(研修対象者) 概ね35歳以上の 中堅研究員等	テーマ「大分県の農林水産試験研究の進むべき方向とは」 講演 講師 農林水産研究指導センター 農業研究部長 草牧 資法 講演 講師 農林水産研究指導センター 林業研究部 きのこグループ長 佐藤 朗 氏 講演 講師 農林水産研究指導センター 林業研究部長 城井 秀幸 氏 全体総括 コーディネーター 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏

(7) チームリーダー研修

各研究部、グループのチームリーダー及び企画指導担当(総括)を対象に研究の企画・立案能力の向上を図り、リーダーとしての自覚を高めることを目的に研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
R元.8.8	大分市「J:COMホルトホール大分」	チームリーダー及び 企画指導担当(総括)等 33名	講演 「大分県経済の強みと課題」 講師 日本銀行 大分支店 支店長 森 毅 氏 講演 「研究の種を育む」 講師 農林水産研究指導センター 林 浩昭 研究指導顧問 質疑応答・意見交換等

(8) マーケティング研修

国内外の農業の動向など幅広い情報とマーケット動向を的確に把握し、農林水産業をめぐる環境等の変化及び市場ニーズをしっかりとつかみ、将来を見据えた新たな発想を生み出す研究員の育成を図ることを目的に研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
R元.11.28	大分市大在青崎 「JA全農大分青果センター」	研究員等22名	説明・施設視察 「県内青果物の冷蔵物流等について」 講師:JA全農大分青果センター センター長 須股 慶一 氏

(9) プレゼンテーション研修

当該年度は実施なし

(10) 数理統計研修

試験研究を行っていく上で、基礎的かつ重要な数理統計について、農林水産試験研究における基礎的な手法の習得とあわせて、現場において直面すると思われる数理統計処理の演習を行うため研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
R元.12.4 ~ 12.6	県庁舎新館 OAプラザ	研究員等 21名	「統計学概論」 講師 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 専門員 三中 信宏 氏

(11) 知的財産研修

知的財産は新たな付加価値を創出し、ブランド化や産地間競争での優位性を高めるとともに、共同研究や競争的研究資金を獲得する上で有効なものである。

当該年度は、下記研修に研究企画担当職員を派遣した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
R元.9.12	大分市 大分銀行 宗麟館	研究企画 担当職員1名	【企業経営セミナー】 講演「逆説の知財戦略 どうして老舗には秘伝のタレがあるのか」 講師 知財コミュニケーション研究所代表 弁理士 新井 信昭 氏
R2.2.26	大分市 レンブラント ホテル大分	研究企画 担当職員1名	【中小企業のための知的財産経営セミナー】 講演「知的財産の力を経営に活かそう！ - 中小企業の先進事例に学ぶ知財活用法 -」 講師 土生特許事務所 弁理士 土生 哲也 氏

(12) はやしセミナー

農林水産研究指導センターの研究指導顧問である林浩昭氏がコーディネーターとなり、農業・畜産・林業・水産が抱える共通課題の解決や共通テーマの情報交換を実施し、研究員の資質向上を目的とした「はやしセミナー」を開催した。

はやしセミナー(センター本部主催)			
開催年月日	開催場所	参加者数	内容
R元.8.8	大分市 「J.COMホルト ホール大分」	チームリーダー 及び 企画指導担当 (総括)等 33名	【第1回セミナー】(TL研修と併催) 講演 「大分県経済の強みと課題」 講師 日本銀行 大分支店 支店長 森 毅 氏 講演 「研究の種を育む」 講師 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏 意見交換 コーディネーター 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏
R元.12.10	花きグループ 会議室	概ね35歳以下の 若手研究員等 40名	【第2回セミナー】(若手研修と併催) テーマ「研究員の学位取得を通じたスキルアップへ～男性研究員の体験を通じて～」 講演 「研究員の学位取得を通じたスキルアップ」 講師 福岡県農林業総合試験場 農産部 麦類育種チーム チーム長 甲斐 浩臣 氏 講演 「研究キャリア(Career)の基盤と継続」 講師 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏 意見交換 コーディネーター 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏
R2.2.21	センター 第1会議室	研究員等36名	【第3回セミナー】 テーマ「試験研究と地域づくりの関わりについて」 講演 「地方公設機関と地域振興の関わり」の提案」 講師 九州産業大学 地域共創学部 地域づくり学科 講師 行平 真也 氏 意見交換 コーディネーター 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏
今年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止となったため、参考までに当初計画について記載します。		(研修対象者) 概ね35歳以上の 中堅研究員等	(当初計画)【第4回セミナー】(中堅研修と併催) テーマ「大分県の農林水産試験研究の進むべき方向とは」 講演 講師 農林水産研究指導センター 農業研究部長 草牧 資法 氏 講演 講師 農林水産研究指導センター 林業研究部 きのこグループ長 佐藤 朗 氏 講演 講師 農林水産研究指導センター 林業研究部長 城井 秀幸 氏 全体総括 コーディネーター 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏
出前はやしセミナー(各所属からの要望への対応)			
開催年月日	開催場所	参加者数	内容
R元.6.20	水産研究部	研究員等20名	【第1回出前セミナー】 講演 「研究倫理と研究者の役割」 講師 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏 講演 「研究論文の書き方」 講師 農林水産研究指導センター 水産研究部 養殖環境チーム 福田 穰 氏 意見交換「これからの研究者とは」 コーディネーター 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏
R元.9.26	農業研究部	研究員等32名	【第2回出前セミナー】 講演「独創性の高い試験のために」 講師 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏 意見交換 コーディネーター 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏
R元.11.21	林業研究部	研究員等15名	【第3回出前セミナー】 講演 「地球環境問題解決のための木材利用」 講師 高瀬文夫商店 代表取締役 高瀬 加津男 講演 「試験研究につながる情報収集について」 講師 農林水産研究指導センター 林業研究部 部長 城井 秀幸 氏 意見交換 テーマ「試験研究に取り組むための発想力強化について」 コーディネーター 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏
R2.2.13	きのこグループ	研究員等9名	【第4回出前セミナー】 講演 「試験研究が抱える問題の解決に向けて」 講師 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏 意見交換 コーディネーター 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏
R2.3.13	花きグループ	研究員等10名	【第5回出前セミナー】 意見交換 テーマ「試験設計の検討について」 コーディネーター 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 氏

6. 知的財産権の取得状況

令和元年度に新たに登録された知的財産権は、特許が1件であった。

なお、令和元年度末までに登録されている特許及び品種は以下のとおりである。

(1) 特許登録

NO.	状況	登録		発明の名称	所属機関	持分割合
		登録番号	登録年月日			
1	登録	3938786	2007/4/6	分娩予知通報システム	畜産研究部	50%
2	登録	4774484	2011/7/8	魚病防除剤及びその製造方法ならびに飼料	水産研究部	40%
3	登録	4783883	2011/7/22	受胎率および産子数向上凍結精子およびその製法	畜産研究部	50%
4	登録	4905649	2012/1/20	魚用ワクチン、その製造方法、および魚類感染症の予防方法	水産研究部	1/3
5	登録	4974002	2012/4/20	灌水施肥装置	農業研究部	30%
6	登録	4974003	2012/4/20	灌水施肥装置の濾過装置洗浄方法	農業研究部	50%
7	登録	5281775	2013/5/31	ウシ脂肪交雑形成に関わる一塩基多型およびその利用	畜産研究部	20%
8	登録	5281920	2013/5/31	ウシ脂肪交雑形成に関わる一塩基多型およびその利用	畜産研究部	20%
9	登録	5422848	2013/12/6	受胎率および産子数向上凍結精子およびその製法	畜産研究部	50%
10	登録	5733829	2015/4/24	凍結された精子用希釈液、及び、これを用いた人工授精方法	畜産研究部	50%
11	登録	5818111	2015/10/9	貝類毒化軽減装置および貝類毒化軽減方法	水産研究部	100%
12	登録	5904369	2016/3/25	精子保存液、精子保存方法及び人工授精方法	畜産研究部	50%
13	登録	5967487	2016/7/15	貝類の育成装置	北部水産グループ	1/3
14	登録	6041238	2016/11/18	ブリ細菌性溶血性黄疸の病原体抗原ポリペプチド、及びこれを含む水産用ワクチン	水産研究部	20%
15	登録	6099048	2017/3/3	茶の施肥方法	農業研究部	50%
16	登録	6291669	2018/2/23	転倒ます型流量計測装置	農業研究部	20%
17	登録	6516252	2019/4/26	根深ネギの大苗育成方法	農業研究部	100%

(2) 品種登録

NO.	状況	登録		農産物の種類	品種名	所属機関	持分割合
		登録番号	登録年月日				
1	登録	15413	2007/3/23	なし	豊里	果樹グループ	100%
2	登録	17734	2009/3/6	かんきつ	大分果研4号	果樹グループ	100%
3	登録	20806	2011/5/24	トルコギキョウ	チェリービー	花きグループ	100%
4	登録	24322	2015/5/20	トルコギキョウ	チェリービー2号	花きグループ	100%
5	登録	24323	2015/5/20	トルコギキョウ	チェリービー3号	花きグループ	100%
6	登録	24345	2015/6/19	ヤマジノギク	TOYO口マン2号	花きグループ	100%
7	登録	26579	2018/2/9	大麦	トヨノホシ	水田農業グループ	70%

7. 九州大学との連携

九州大学の教育研究並びに社会貢献の進展と、大分県における農林水産業の振興を図ることを目的に、平成19年1月29日に、「国立大学法人九州大学大学院農学研究院、大学院生物資源環境科学府及び農学部と大分県農林水産部との連携に関する基本協定」が締結されており、平成24年1月28日に5年間の有効期間延長、さらに、平成29年1月28日に再延長を行っている。

連携事項としては、(1)共同研究事業、(2)研究者及び学生の派遣・交流事業、(3)学術研究資料の交換事業、(4)その他、本協定の目的の達成に有益な事業であり、これらを行うために「連携協議会」を設置し、今後の連携交流の円滑な実施及び具体的な事業の推進を図ることとしている。

なお、令和元年度は日田市において連携協議会を開催した。連携協議会では、農業・畜産・林業・水産の各分野で具体的な連携に向け分科会を実施し、現地研修会も行った。

連携協議会関連行事

開催月日	場所	行事名	内 容	参 集 者
R1.7.9	九州大学 伊都キャンパス	九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携打合せ	・令和元年度九大連携協議会の開催内容について	(九州大学) 福田院長、小脇係長、 小野事務部長、水野総務部長 (大分県) 太郎良センター長、白根
R1.8.1~2	日田市複合 文化施設 アオーゼAOSE (現地研修) ・大規模園芸施設 ・林業研究部 ・JAおいた 中西部事業部 梨選果場	九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携協議会	全体協議 (1)大分県におけるスマート農業関連実証事業の取り組みについて 農林水産試験研究指導センター 研究企画監 藤谷信二 氏 (2)「次世代施設園芸団地とパブリカ現地実証研究」 農業研究部 主幹研究員(TL) 山田晴夫 氏 分科会(農業、畜産、林業、水産の4分野で実施) (テーマ)共同研究に取り組んでいる(取り組みたい)事例紹介他 現地研修会(8/2) Aコース;林業研究部、JAおいた梨選果場 Bコース;大規模園芸(パブリカ)施設(株)タカヒコアグロビジネス)	(九州大学) 福田院長 他17名 (大分県) 太郎良センター長 他61名
R1.11.14 R2.1.29 R2.2.25	九州大学農学部 附属農場高原農業 実験実習場 (竹田市久住町)	九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携打合せ	・次年度の取り組みの計画及び今後の連携のあり方等	(九州大学) 高橋准教授 (大分県) 担当者1名
R2.3.25	九州大学農学部 附属農場高原農業 実験実習場 (竹田市久住町)	九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携打合せ	・次年度の取り組みの計画及び今後の連携のあり方等	(九州大学) 高橋准教授 (大分県) 研究企画監 他2名

8. 受賞、学位取得の状況

(1) 受賞者一覧

畜産研究部

受賞者	受賞名	表彰授与主体	受賞年月日	受賞の内容
主幹研究員(TL) 倉原 貴美	平成30年度 優秀畜産 技術者賞	(公社)畜産 技術協会	R1.6.18	肉用牛の育種改良 や受精卵移植技術 を活用した優秀な 種雄牛造成に貢献

きのこグループ(林業研究部)

受賞者	受賞名	表彰授与主体	受賞年月日	受賞の内容
主幹研究員(TL) 飯田 千恵美	第32回研究 功績賞	全国林業試験 研究協議会	R2.1.23	シイタケの嗜好性 と機能性に関する 研究

(2) 学位取得者

平成31年3月末時点での当センター在籍職員の学位(博士)取得者は8名である。

センター所属 : 取得10名

(内訳 農研1、水田1、果樹1、畜産2、林研1、きのこ2、水研2)

センター以外の所属: 取得5名

9. 主要な行事・会議等

(1) 主な行事・会議等一覧表

月 日	行事名等	場 所
令和元年8月1日	ふるさとしごとフォーラム(北水G)	大分県教育会館
令和元年8月6日~7日	農林水産部試験研究部門別評価会議	大分県水産会館
令和元年9月5日	農林水産部試験研究全体評価会議	大分県水産会館
令和元年9月19日	農林水産部試験研究推進本部会議	県庁
令和元年10月12日~13日	農林水産祭(水産部門)への水産研究展示(台風により中止)	亀川漁港
令和元年10月26日~27日	農林水産祭(農・林業部門)への農業・畜産・林業研究等の展示	別府公園
令和元年11月9日	農大祭への農業・畜産・林業研究等の展示、生産物(茶)の販売	農業大学校グラウンド

(2) 所属長会議及び企画調整会議の開催

各試験研究機関との連絡調整を図るため、本部と各研究部長・グループ長とで構成する所属長会議及び各研究部、グループの企画指導担当(総括)等で構成する企画調整会議を開催した。

なお、所属長会議は2回、企画調整会議は4回開催した。

10. 各所属の業務・試験研究

所属名	主な業務・研究内容
農林水産研究 指導センター (本部)	研究課題の決定調整・進行管理 共同研究の調整・知的財産取得・活用 課題評価・成果公表 研究員の資質向上 産学官交流・連携促進
農業研究部	土壌管理・施肥改善技術、地域資源活用技術、農産物の品質評価技術 病害虫発生予察・防除技術、安全安心農業技術 イチゴの品種育成・選定、安定生産技術 トマト・ピーマン等の品種選定、栽培技術 ネギ・イモ等の露地野菜の安定生産技術 茶の安定生産・多収穫栽培技術 農業に関する研修及び現地指導
水田農業グループ	稲・麦・大豆の品種の育成・選定、栽培技術改善 稲・麦・大豆の優良種子生産 水田畑地化を実現するための技術開発 水田大規模経営体の生産性向上を目的とした技術開発
果樹グループ	温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術 カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術 ナシ・ブドウ等の育種、優良系統の選抜、栽培技術
花きグループ	花き類の育種、優良系統の選抜、栽培技術
畜産研究部	肉用牛の改良増殖、種雄牛造成並びに精液供給 肉用牛の飼養技術及び繁殖技術 乳用牛の飼養技術及び繁殖技術 牧草及び飼料作物の優良品種選定、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策 豚の育種、飼養管理技術並びに種豚・精液供給 家禽の育種並びに飼養管理技術並びに種卵・家禽供給
林業研究部	育種・育林技術、病虫獣害対策技術 木材乾燥技術、木材性能評価、木竹材製品開発 林業に関する研修及び現地指導
きのこグループ	きのこの育種、栽培技術、病害虫防除技術 きのこ類の生理、分類、同定に関する研究
水産研究部	種苗生産と育種、放流効果技術、水産資源管理、漁場造成技術 養殖技術の開発、魚介類の疾病対策、漁場環境保全、水産物の品質向上技術
北部水産グループ	魚介類の種苗生産・放流技術、資源管理、漁場造成技術 疾病対策技術、環境保全、赤潮被害防止技術 水産に関する研修及び現地指導

11. 予算概要

平成31年度当初予算(経常的経費[人件費を除く])

(単位:千円)

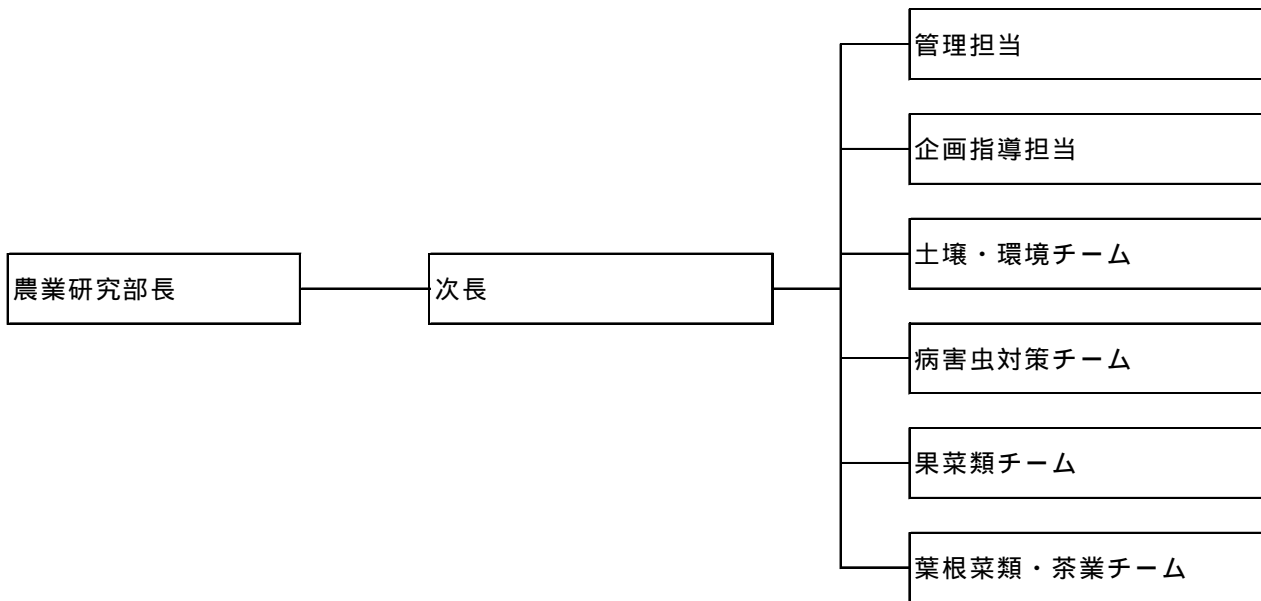
区分	管理運営費 + 管理予算	施設整備費	試験研究費	計
試験研究調整費 (農林水産研究指導センター本部)			13,163	13,163
農林水産研究指導センター施設整備事業		69,750		69,750
農業研究部	53,915		44,265	98,180
水田農業グループ	20,077		16,702	36,779
果樹グループ	12,815		26,029	38,844
花きグループ	13,032		12,909	25,941
畜産研究部	64,190		151,501	215,691
林業研究部	17,434		9,416	26,850
きのこグループ			13,310	13,310
水産研究部	32,480		41,950	74,430
北部水産グループ	26,189		20,420	46,609
合計(農林水産研究指導センター)	240,132	69,750	349,665	659,547

各研究部・グループの概要

- 1 農業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成31年4月26日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部	長		1					1	
次	長	1						1	兼センター管理調整監
管	理	5						5	
企	画		7					7	広域普及指導員4名
土	壌		7		1			8	
病	害		9			1		10	
果	菜		9	2				11	
葉	根		6		1	1		8	
計		6	39	2	2	2	0	51	

(3) 業務

主な業務

大分県農林水産試験研究基本指針に基づき、「The・おおいた」ブランドを確立するための産地づくりを技術面から支援する。研究課題の設定にあたり、県が推進する園芸戦略品目を中心に生産者や消費者・実需者のニーズを反映し生産現場に直結する栽培法や新品種を開発・改良・実証する。地域未利用資源の新たな活用方法や品質、収量の向上に加えて、省力化技術など課題を解決するための研究を行う。

企画指導担当

生産者に対する研修および現地指導
試験研究の企画調整、進行管理
研究成果のとりまとめ、研究員の育成

土壌・環境チーム

農産物の安全安心や環境に優しい農業生産技術の研究
未利用資源の農業活用技術に関すること
農産物の栄養・機能性成分の調査、分析に関すること
肥料取締り分析と農業試験検査事務に係る分析
IoTなど新技术を活用した野菜類栽培の省力化技術の確立

病虫害対策チーム

IPMに基づいた病虫害防除技術の開発、実証
難防除病虫害、農薬耐性菌・抵抗性害虫対策の組み立て
主要農作物の病虫害発生予察に関すること
国内未発生病害虫に関する植物検疫
マイナー作物への適用農薬の登録推進

果菜類チーム

トマトの周年安定生産技術の研究
夏秋ピーマンの省力安定生産の研究
イチゴ新品種の育成
イチゴ経営体の規模拡大を可能にする新生産方式の開発
パブリカの品質・収量向上のための現地実証

葉根菜類・茶業チーム

根深ネギ、ニラ、カンショ、サトイモ等の栽培技術に関する研究
カンショの品種選定、ウイルスフリー苗の供給
茶の栽培および病虫害に関する研究
茶の品種選定

2. 試験研究課題

農業研究部(1/3)

農業研究部				担当	連携	研究	予算
試験研究課題名				チーム	機関	期間	区分
大課題、1中課題・研究項目							
「・研究項目」以下の区分:1)、(1)、							
構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発							
1 構造改革の更なる加速のための技術開発							
			いちごの大規模経営体を育成・支援するための技術開発				
	1)	イチゴ大規模経営体を支援・育成	果菜類 チーム	地域農業 振興課、 各振興局	H28~31	県単、一 部国庫	
			環境制御技術によるいちごの収量向上				
			施設葉菜類のハウス内環境制御技術の確立				
	1)	次世代型土壌水分センサーによる	土壌・環 境チーム	北部振興 局	H30~R02	県単	
			革新的な省力栽培技術の開発				
	1)	マルチコブターを活用した白ねぎ	土壌・環 境チーム	(株)KMT、 葉根菜 類・茶業 チーム	H31~ R03	県単	
	2)	労働力不足に対応した施設葉菜類	葉根菜 類・茶業 チーム	-	H31~ R03	県単	
	3)	イモ類の産地拡大に向けた省力化	葉根菜 類・茶業 チーム	-	H31~ R03	県単	
			市場動向に対応した輸出用かんしょ生産技術の確立				
			トマトの低コスト養液栽培システムの開発				
			農産物の栄養分・機能性成分の数値化				
	1)	大分県産夏秋野菜の栄養・機能性	土壌・環 境チーム	地域農業 振興課、 中部振興 局、豊肥 振興局、 西部振興 局、果菜 類チーム	H29~31	県単	
			高付加価値な内容成分を有する輸出用農産物技術の開発				
2 ブランド化のための技術開発							
			いちごの県オリジナル品種の品種登録と普及				
			いちごの県オリジナル品種の育成				
	1)	イチゴ育種技術の改善と新品種候補	果菜類 チーム	-	H31~ R03	県単	
			トマト新品種の選定				
			糖度判定技術の迅速化				
			農産物の機能性成分評価に関する研究				
			新需要に対応した品種選抜と加工技術の開発				
	1)	カンショの品種選定	葉根菜 類・茶業 チーム	農研機構	長期	県単	

農業研究部(2/3)

3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発					
・ かねぎの冬期増収に向けた栽培技術の開発					
・ 調製機械の効率化のための分析・改良提案					
・ 市場動向に対応したかねぎの夏秋期安定出荷技術の確立					
	1) 大苗利用による根深ねぎの夏越し及び初夏どり作型の生産安定技術の確立	葉根菜類・茶業チーム	-	H30~R02	県単
・ ドリンク用茶の安定収量確保のため二番茶の収穫適期判定技術の開発					
・ かねぎの土壌病害の防除技術の確立					
・ 夏秋トマトのすすかび病及び線虫類の防除対策					
・ 農産物の安全安心に関する研究(薬剤抵抗性害虫の天敵利用技術)					
	1) 県オリジナルイチゴ品種「大分6号」のハダニ類を中心とした主要病害虫の防除体系構築	病害虫対策チーム	地域農業振興課、各振興局	H31~R03	県単
	2) 夏秋ピーマンにおける天敵を主体とした害虫防除体系の構築	病害虫対策チーム	中部振興局、豊肥振興局	H30~R02	県単
	3) 平坦地に適した根深ねぎべと病の防除技術の確立	病害虫対策チーム	北部振興局	H30~R02	県単
	4) 稲こうじ病、いもち病に対する新たな防除体系の構築	病害虫対策チーム	各振興局、土壌・環境チーム	H29~31	県単
・ シンモザイク病及びさび症の防除体系の確立					
・ 茶の高品質省力栽培・加工技術の開発					
	1) 拡大するドリンク茶・点茶碾茶需要に対応した茶生産技術の確立	葉根菜類・茶業チーム	-	R01~03	県単
・ 新資材による低コスト施肥技術の開発					
	1) 低コストな混合堆肥複合肥料の開発	土壌・環境チーム	(株)菱東肥料、水田農業グループ	R01~03	県単
・ IPM管理技術を活用した防除体系の確立					
・ 有機農業の支援					
4 力強い担い手を育成するための技術開発					
・ 加工・業務用野菜栽培技術の確立					
・ 果菜類の安定生産技術の開発					
	1) 「赤採りトマト」の周年供給体制の確立	果菜類チーム	豊肥振興局、西部振興局、土壌・環境チーム	H29~31	県単
	2) 作業管理システム及び生育予測を核とした大規模施設園芸発展スキームの構築	果菜類チーム	西部振興局	H28~31	国庫
・ 夏秋ピーマンの省力・安定生産技術の開発					
	1) 夏秋ピーマンの省力多収栽培技術の確立	果菜類チーム	-	H30~32	県単

農業研究部(3/3)

	・ 低コスト耐候型施設の開発				
	・ 養液栽培における生産安定技術の開発				
	・ 大規模茶園における安定多収穫栽培と品質安定技術(効率的施肥)の開発				
	・ 高品質・安定生産・省力化のための茶園管理技術の開発				
	1) 茶試験圃場の育成	葉根菜類・茶業チーム	農研機構	長期	県単、一部国庫
5	地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
	・ 環境に優しく地域資源を活用した農業生産技術の開発				
	1) 農業分野における転炉スラッグの活用拡大に関する技術構築	土壌・環境チーム	豊肥振興局	H31～R03	県単
	研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
	・ 農業情報の提供(生育状況、気象データ)				
	1) 農業情報の提供(気象データ)	企画指導担当	水田農業グループ、果樹グループ、花きグループ	長期	県単
	・ 土壌情報の活用				
	1) 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	土壌・環境チーム	各振興局	H25～R02	国庫
	・ 土壌肥料検査業務				
	1) 土壌肥料検査業務	土壌・環境チーム	-	長期	県単、一部委託
	・ 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援				
	1) 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援	土壌・環境チーム	-	長期	県単、一部委託
	・ 病害虫発生予察情報(普通作・野菜・果樹・茶)				
	1) 病害虫発生予察事業	病害虫対策チーム	-	長期	県単、一部国庫
	2) チャの主要病害虫防除対策	葉根菜類・茶業チーム	-	長期	県単、一部委託
	・ ウィルスフリー苗の作出				
	1) イチゴのウィルスフリー苗の育成	果菜類チーム	-	長期	県単
	2) カンショの茎頂培養によるウィルスフリー苗育成	葉根菜類・茶業チーム	-	長期	県単
	・ 地域固有の動植物の保存				
	1) 地域固有の動植物の保存	企画指導担当	各振興局	長期	県単
	・ 委託薬剤試験				
	1) 安全生産技術に関する研究	病害虫対策チーム	各振興局	長期	県単、一部委託
	・ マイナー作物農薬残留調査				
	1) 農薬残留特殊調査(マイナー作物への登録拡大)	病害虫対策チーム	大分県薬剤師、東部振興局、北部振興局	H28～30	県単、一部国庫

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
大分県農林水産研究指導センター研究報告 (農業研究部編)	R01.05.	32	80
平成30年度植物防疫事業成績書	R02.02.	63	200
令和元年度植物防疫事業成績書	R02.03.	71	200
平成30年度農業研究部試験研究成績書	R02.03.	342	60

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
鈴木 智範	Occurrence of <i>Meloidogyne microcephala</i> in Oita	Nematological Research	49	13
鈴木 智範	トマトの上手なネコブセンチュウ対策	技術と普及[2019]	7月号	56-57
鈴木 智範	イネ稲こうじ病に関する省力的防除方法の検討	九州病害虫研究会報	65	106
鈴木 智範	大分県におけるイネ稲こうじ病の発生状況	日本植物病理学会報	85(1)	92
山田 晴夫	温泉熱を活用したパブリカの周年出荷体系	施設と園芸	187号	56

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R1.8.29	第82回(令和元年度)九州農業研究発表会	山賀陽子・山田晴夫	イチゴ「さがほのか」の育苗時の鉢上げ時期と施肥がランナー発生に及ぼす影響
R1.8.29	第82回(令和元年度)九州農業研究発表会	小野紘平・佐藤如・山田晴夫	「恋みのり」の果実特性について
R1.8.29	第82回(令和元年度)九州農業研究発表会	埴谷博一・山賀陽子・山田晴夫	バブリカ機能成分の品種別時期別推移(夏秋作)
R1.8.29	第82回(令和元年度)九州農業研究発表会	三宅美穂・大坪亮介	ハウスの換気の有無が冬ニラの生育に及ぼす影響
R1.11.14	第82回(令和元年度)九州農業研究発表会	加藤貴浩・神崎悠梨・藤谷渉	大分県産夏秋ピーマンにおける遮光資材および光反射資材設置の有無による栄養・機能性成分変動実態の解明
R1.11.14	第82回(令和元年度)九州農業研究発表会	藤谷渉・玉井光秀	小ネギ栽培における緩効性肥料を活用した環境負荷の軽減
R1.11.14	第82回(令和元年度)九州農業研究発表会	山野秀真・下村真一郎・玉井光秀	転炉スラグを用いた土壌酸度矯正による白ネギ土壌病害抑制効果の検討(ポスター)
R1.11.14	第82回(令和元年度)九州農業研究発表会	神崎悠梨・加藤貴浩	夏秋トマトのアスコルビン酸含量とカロテン含量の推移(ポスター)
R2.1.22	令和元年度 果樹茶業研究会 茶業研究会	村上圭	有機碾茶安定生産技術 長期被覆と有機質肥料利用による技術確立
R2.1.30	九州病害虫研究会第99回研究発表会	鈴木智範・山野秀真・下村真一郎・佐藤通浩	黒ボク土における転炉スラグと箱粒剤の組合せによるイネ稲こうじ病の防除効果と収量品質について
R2.1.30	九州病害虫研究会第99回研究発表会	岡本潤・田中啓二郎	<i>Alternaria dauci</i> によるコリアンダー褐斑病(仮称)の発生とその宿主および有効薬剤
R2.1.30	令和元年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	山田晴夫	排水計測装置によるイチゴ高設栽培のかん水施肥管理技術の確立
R2.1.30	令和元年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	池永亜希子	イチゴ「大分6号」の摘果および芽数管理が収量および品質に及ぼす影響
R2.1.30	令和元年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	山賀陽子	イチゴ「大分6号」と「さがほのか」における育苗方法がランナー・小苗発生に及ぼす影響
R2.1.30	令和元年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	田中とも子	イチゴ県間連携育種の取組経過と今後の方向性
R2.1.30	令和元年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	大塚美希	日射+飽差センサを活用したかん水施肥技術による夏秋トマトの収量・品質の向上
R2.1.30	令和元年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	後藤祥太郎	水田転換畑におけるさといも全期間マルチ栽培の品種の検討
R2.3.22	園芸学会令和2年度春季大会	大坪亮介	長尺容器を利用した小ネギ栽培方法の検討

(4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和年度第2回農林水産研究指導センター研究状況報告会	R1.12.20	県庁91会議室	1	44

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R1.5.28	社会科学学習	西の台小学校	160	西の台小学校
R1.5.30 R1.5.31	革新的技術開発・緊急展開事業現地研修会	中津市	40	革新的技術開発・緊急展開事業コンソーシアム(九大他)
R1.6.19	土づくり研修会	東部振興局	40	東部振興局生産流通部
R1.6.26	果樹園土壌調査研修	日田市	10	西部振興局生産流通部
R1.6.28	農業農村若手職員研修会	県庁	50	農村整備計画課
R1.7.19	果樹課題解決研修会	宇佐センター	20	地域農業振興課
R1.7.25	水田畑地化現地研修会	日田市	10	西部振興局生産流通部
R1.8.1	ベリーズ研修会	大分市	48	中部振興局
R1.8.22	小ネギ施肥・土壌改良資材研修	北部振興局	10	北部振興局生産流通部
R1.10.23	土づくり研修会	県庁	21	地域農業振興課
R1.10.29	有機農業者養成講座	大分市東部公民館	15	おおいた有機農業推進ネットワーク
R1.11.18	ベリーズ全体研修会	別府市	95	大分県いちご販売強化対策協議会
R1.11.28	こねぎ研修会	国東市役所	20	国東市農業公社
R1.12.5	ドローン研修会	豊後大野市	5	地域農業振興課
R1.12.5	ベリーズ研修会	農業研究部	10	豊肥振興局
R1.12.9	JA豊肥トマト部会研修会	竹田市	55	JA豊肥トマト部会
R1.12.11	大分白ねぎスマート農業実証コンソーシアム現地検討会	豊後大野市	20	全農大分県本部
R1.12.26	ベリーズ現地検討会	大分市	45	中部局、中西部イチゴ部会
R2.2.6	転炉スラグによる土壌酸度改良対策研修会	竹田市	41	農業研究部
R2.2.26	有機栽培茶生産研修会	場内	50	地域農業振興課

(2) 受入研修

長期研修者受け入れ

該当なし

生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	10	104
団体等職員	9	72
普及指導員	7	86
学生	5	61
児童・生徒	0	0
海外からの視察者	0	0
その他	6	47
計	37	370

大学
小中高校

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
<p>‘ベリーツ’に対するIPM及びスマート農業技術の現地移転</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アブラムシ対策のために、コレナバンカー(ナケルアブラバチ、コレマンアブラバチ)の普及を図る。併せて、他の微小害虫に対するIPM技術の導入を図る。 ・効率的な肥培管理を図るため、モニタリング装置の活用方策を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハダニ対策として、ミコバシカを10月に3ヶ所設置し実証した。 ・アブラムシ対策としてコレナバンカーを10、11、3月に3ヶ所設置し実証した。 ・アザミウマ対策としてアカメを2月に3カ所に設置し、導入が遅れた1カ所については3月に追加放飼し実証した。 ・モニタリング結果は、年内分を集約し、2ヶ年分の比較検討を行った。
<p>根深ネギ大苗定植技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大苗生産技術の効率化と育苗時の精密な灌水の実施を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地1カ所で50a以上の実証を行い、技術導入ほ場での単収3,000kg/10a以上を目標に取り組んだ。
<p>ドリンク茶栽培における収量・品質向上のための総合的管理技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリンク茶法人における重点指導地区における品質適合率の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人工衛星sentinel2の周期に合わせて生葉成分や収量調査を実施、ドリンク茶法人へ結果をフィードバックし指導した。

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織

- 2 農業研究部 水田農業グループ

1. 組織及び職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成31年4月26日現在

組織	職種	職員		技師	労務 技師	業務 技師	事務 補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
管理担当		3						3	
企画指導担当			2					2	広域普及指導員1名
水田農業チーム			8	5				13	
計		3	11	5	0	0	0	19	

(3) 業務

稲・麦・大豆の品種の育成・選定、栽培技術改善

稲・麦・大豆の優良種子生産

水田畑地化を実現するための技術開発

水田大規模経営体の生産性向上を目的とした技術開発

2. 試験研究課題

農業研究部 水田農業グループ					
試験研究課題名		担当	連携	研究	予算
大課題、 1中課題 ・研究項目		チーム	機関	期間	区分
「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、					
構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発					
1	構造改革の更なる加速のための技術開発				
	・ ICT、RTを活用した生産環境情報収集による低コスト化技術の開発			R1該当なし	
2	ブランド化のための技術開発				
	・ 酒造好適米品種の選定と栽培技術の確立			R1該当なし	
	・ 食味、機能的、安全性などに優れた品種の選定と栽培技術の確立				
	1) 水田農業転換期を支える多収型優良品種の導入に向けた栽培法の確立	水田農業 チーム	振興局	R1～R3	県単
	2) 水稲・麦・大豆の品種選定	水田農業 チーム	(国研) 農研機構 農集課、 振興局	H28～30	県単
	・ 地場企業に向けた麦類・大豆の品種選定と省力栽培技術の確立			R1該当なし	
3	マーケットインの商品(もの)づくりを加速するための技術開発				
	・ 酒造好適米品種の選定と栽培技術の確立			R1該当なし	
4	力強い担い手を育成するための技術開発				
	・ 土地条件に対応した水稲直播栽培等低コスト栽培技術の確立				
	1) 経営規模拡大と低コスト化をめざした水稲乾田直播栽培の体系化実証	水田農業 チーム	(国研) 農研機構、 アグリテック、 矢崎、振興局	H29～R1	県単 国庫
	・ 水田フル活用に向けた新規需要米			R1該当なし	
	・ 農地集積や大区画化に対応した水田営農システムの確立				
	1) 播種適期の拡大と排水対策による麦類の収量安定生産技術の確立	水田農業 チーム	振興局	H30～R2	県単
	・ 帰化植物、薬剤抵抗性等の難防除雑草の防除技術の開発				
	1) 生育制御と雑草防除による大豆の高位安定生産技術の確立	水田農業 チーム	(国研) 農研機構、 宮崎大学、 振興局	H30～R1	県単 国庫
	・ 水田の省力管理技術の開発			R1該当なし	
5	地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
	・ 焼酎粕等の未利用資源の活用による地域循環型栽培法の確立				
	1) 麦栽培期間中の堆肥投入による水田地力回復技術の確立	水田農業 チーム	農業研究 部、振興局	H30～R2	県単
研究を支える基礎調査と優良種苗管理					
	・ 主要農作物(水稲、麦類、大豆)の優良種子管理				
	1) 主要農作物等種子対策事業	水田農業 チーム	農集課、 振興局	長期	県単
	・ 水稲、麦類、大豆の作柄判定調査の情報提供による生産指導支援				
	1) 水稲、麦類、大豆の作柄判定調査	水田農業 チーム	農集課、 振興局	長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
大豆栽培における難防除雑草の防除(農研機構発行)	R2.3	30	PDF公開
稲・麦類・大豆採種栽培の手引き(種子協会・農集課発行)	R2.3	90	200
大分県の大豆作における難防除雑草と防除技術	R2.3.27	20	1,000
大分県水稲乾田直播栽培指針	R2.3.31	33	500
平成30年度(令和元年産)水田冬作試験成績書	R2.3.31	213	60
令和元年度水田夏作試験成績書	R2.3.31	277	60

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
河野 礼紀	難防除雑草の最新情報と現場で取れる対策 カロライナツクサ	技術と普及	2019年 8月号	p10-11

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H31.4.12	日本雑草学会第58回大会	河野礼紀	大分県の飼料用トウモロコシ畑でみられた外来雑草について
R1.10.18	日本作物学会九州支部第96回講演会	近乗偉夫・柿原千代文・河野礼紀・森本美和・重松健太・新家得正	高速高精度汎用播種機の作業性能と水稲乾田直播栽培への適応性
R1.10.18	日本作物学会九州支部第96回講演会	柿原千代文・近乗偉夫・河野礼紀・森本美和	水稲乾田直播栽培における肥効調節型肥料を利用した全量基肥施用法の検討
R1.10.18	日本作物学会九州支部第96回講演会	山本真梨子・吉良知彦・墨谷荘平・安藤広将	麦類における播種期及び年度別の茎立期と播種期～茎立期積算気温との関係
R1.12.6	大分高専テクノフォーラム第30回技術講演会	近乗偉夫	「水田農業の現状と課題」- 農工連携課題の提案 -

4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
大分県産業科学技術センター研究成果発表会	令和元年 11月7日	県産業科学技術センター多目的ホール	1	54
令和元年度第2回農林水産研究指導センター研究状況報告会	令和元年 12月20日	県庁舎本館91会議室	1	44

5. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H31.4.12	センチビードグラス育苗講習	杵築市山香町	10	杵築市
R1.7.29	大豆摘芯実演会	宇佐市安心院	20	北部局
R1.7.31	南部局乾田直播現地研修会	佐伯市	15	南部局
R1.8.20	多収性品種現地研修会	杵築市	55	全農
R1.8.20	ラジコン式草刈機実演会	宇佐市安心院	30	北部振興局
R1.9.3	水田スマート農業研修会	大分市	100	農地活用・集落営農課、全農
R1.9.12	採種事業関係者研修会	大分市	20	農地活用・集落営農課、(一財)大分県主要農作物改善協会主催
R1.9.13	豊肥局スマート農業研修会	豊後大野市緒方	40	豊肥局
R1.10.17	福岡県須恵町農業委員会視察研修	水田農業グループ	20	福岡県須恵町農業委員会
R1.11.8	第1回雑草研究者育成講座	東京農業大学	40	日本雑草学会
R2.12.5	良食味米生産に向けた研修会	玖珠町	30	西部局
R2.1.22	農業指導士養成研修	水田農業グループ	20	地域農業振興課
R2.2.4	つや姫栽培研修会	別府市	60	農地活用・集落営農課
R2.2.10	中部地区水稲被害対策会議	大分市	20	中部局
R2.2.13	福岡県久山町農業委員会視察研修	水田農業グループ	30	福岡県久山町農業委員会
R2.3.17	課題解決研修	水田農業グループ	35	

（2）受入研修

長期研修者受入 該当なし

生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	3	33
団体等職員	6	13
普及指導員	4	50
学生		
児童・生徒		
海外からの視察者		
その他		
計	13	96

大学
小中高校

（3）指導・研修プロジェクトの実証

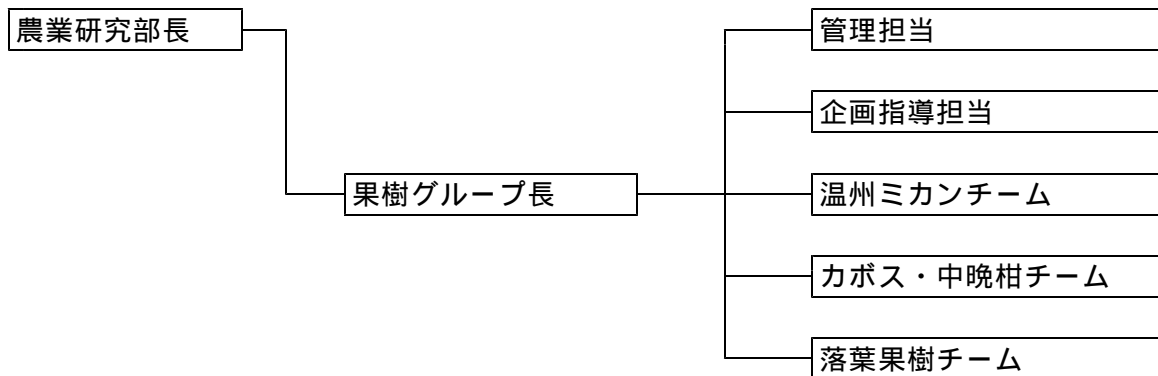
課題名	目的	現地実証等の概要
大豆摘芯栽培法の普及	早播・摘芯栽培法を現地で実証し普及を図る。	現地5圃場において早播・摘芯栽培を実証展示し、夏季天候不良年における問題点を把握した。

- 3 果樹グループ()

(果樹グループのうち平成31年(2019年)4月26日より「ナシ・ブドウチーム」は「落葉果樹チーム」に改称)

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成31年4月26日現在

組織 \ 職種	職員		技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
	事務	技術						
グループ長		1					1	広域普及指導員 2
管理担当	1						1	
企画指導担当		3					3	
温州ミカンチーム		4		1			5	
カボス・中晩柑チーム		4		1			5	
落葉果樹チーム		5	1		1	1	8	
計	1	17	1	2	1	1	23	

(3) 業務

温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究

カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究

ナシ・ブドウ等の優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究

ハウスミカン、施設中晩柑に関する試験研究

カンキツ及び落葉果樹の病害虫に関する試験研究

生産者に対する研修及び現地指導

2. 試験研究課題

試験研究課題名 大課題 1 中課題 ・研究項目 (1)小課題	担当	連携機関	研究期間	予算区分
構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発 ・ハウスマカンの早期成圃化及び高生産技術の確立				
(1) ハウスマカン栽培における適正水分管理技術と省力・高収益栽培技術の開発	温州ミカンチーム		30~2	県単
・ナシの早期成圃化及び高生産技術の確立				
(2) 若者に魅力ある所得2倍の高収益、早期成圃化技術「ナシ流線型仕立」の確立	落葉果樹チーム		29~31	県単
・水田フル活用の推進				
(3) 水田転換に対応した新たな落葉果樹栽培技術の開発	落葉果樹チーム		30~2	県単
2 ブランド化のための技術開発				
・カンキツ優良品種の選定と栽培技術の確立				
(4) カンキツ系統適応性検定試験	温州ミカンチーム		31~3	県単
・落葉果樹の優良品種の選定と栽培技術の確立				
(5) 落葉果樹の系統適応性検定試験	落葉果樹チーム		31~3	県単
・カンキツの品種の育成と栽培技術の確立				
(6) 「開花期加温栽培」による「不知火」、「あずみ」の高糖度果実安定栽培技術の開発	温州ミカンチーム		31~3	県単
(7) 県南地域を支える地域特産中晩柑の高品質・安定生産技術の確立	カボス・中晩柑チーム		29~31	県単
(8) カボス新品種導入による周年出荷の安定及び中晩柑類の新品種育成	カボス・中晩柑チーム		31~3	県単
(9) 「おおいた早生」のリレー出荷を可能にする無加温栽培と樹上完熟栽培技術の開発	温州ミカンチーム		31~3	県単
・落葉果樹の品種の育成と栽培技術の確立				
(5) 落葉果樹の系統適応性検定試験	落葉果樹チーム		31~3	県単
(10) いつも美味しい!「おおいたシャインマスカット」生産技術の確立	落葉果樹チーム		29~31	県単
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速するための技術開発				
・カボスの周年安定出荷のための栽培及び貯蔵方法の確立				
(8) カボス新品種導入による周年出荷の安定及び中晩柑類の新品種育成	カボス・中晩柑チーム		31~3	県単
・果樹の病害虫防除体系の確立				
(11) 果樹の病害虫防除並びに植物生長調節剤に関する試験				
温州ミカン、カボス・中晩柑	温州ミカンチーム カボス・中晩柑チーム		31~3	県単・国庫
ナシ・ブドウ	落葉果樹チーム		31~3	県単・国庫
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・施設柑橘の大規模化を可能にする技術確立				
(9) 「おおいた早生」のリレー出荷を可能にする無加温栽培と樹上完熟栽培技術の開発	温州ミカンチーム		31~3	県単
・ハウスマカンの省エネ及び高収益栽培技術の確立				
(1) ハウスマカン栽培における適正水分管理技術と省力・高収益栽培技術の開発	温州ミカンチーム		30~2	県単
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・温暖化に適応可能な新たな果樹品目の探索と栽培技術の確立				
(4) カンキツ系統適応性検定試験	温州ミカンチーム		31~3	県単
研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・農業情報の提供(生態調査) カンキツの生態調査	果樹グループ		長期	県単
落葉果樹の生態調査				
・優良品種系統の原母樹の確保と優良穂木の管理	果樹グループ		長期	県単
・地元ゆかりの動植物の保存	果樹グループ		長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	項数	部数
平成30年度大分県農林水産研究指導センター果樹グループ試験研究年報CD版	R2.2	107	120枚

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
矢野 拓	ハウスミカンの省エネルギーと高品質・多収生産	施設と園芸	186	_9-14
那須翔太	大分県におけるカンキツ害虫の発生動向と防除策	果実日本	74巻-10月	14-17
吉澤栄一	カンキツ「あすみ」のかん水管理による裂果発生抑制技術について	果実日本	74巻-12月	60-63

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R1.8.30	令和元年度九州沖縄農業研究発表会(果樹部門)	矢野 拓	ハウスミカンの垣根仕立てと開心自然形の垂直プロファイルによる生産構造の比較
R1.8.30	令和元年度九州沖縄農業研究発表会(果樹部門)	吉澤栄一	カンキツ「あすみ」果実の栽培条件や年次による貯蔵性の差異
R1.8.30	令和元年度第82回九州農業研究発表会(果樹部会)	姫野 悟	被覆資材を利用した「大分果研4号」の外観・品質向上技術の検討
R1.8.30	令和元年度第82回九州農業研究発表会(果樹部会)	佐藤洋平	ブドウ「シャインマスカット」の食感改善技術
R1.11.21	日本農業気象学会九州支部会	矢野 拓	ハウスミカン垣根仕立て樹の水収支について

(4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
九州沖縄推進会議(果樹推進部会)	R1.5.23	別府市(豊泉荘)	1	66
九州沖縄推進会議(カンキツ分科会(成績検討会))	R2.1.28	ホテルグランデはがくれ	6	24
九州沖縄推進会議(落葉・ピワ・熱帯果樹分科会(成績検討会))	R2.1.28	ホテルグランデはがくれ	2	26

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H31.4.12	ハウスミカン研修会	杵築市	8	JAおおいた、東部局
R1.5.10	津久見地域柑橘意見交換会	津久見市	30	県南柑橘研究会
R1.5.28	ハウスミカン研修会	杵築市	10	JAおおいた、東部局
R1.5.30	中晩柑反省会	JA県南柑橘選果場	30	JAおおいた県南柑橘選果場
R1.5.31	ハウスミカン研修会	杵築市	3	東部局
R1.6.3	ハウスミカン研修会	杵築市	4	東部局、中部局
R1.6.5	JAおおいた柑橘研究会研修会	大分市	40	JAおおいた
R1.6.10	ハウスミカン研修会	杵築市	4	東部局、中部局
R1.6.19	県南カボスエリア別研修会	JAおおいた白杵事業部	40	JAおおいた県南カボス部会
R1.6.21	JAおおいたカボス部会研修会	大分市	30	JAおおいた
R1.6.25	サンセレブ反省会	JA県南柑橘選果場	20	JAおおいた県南柑橘選果場
R1.7.8	津久見市柑橘組合長会議	津久見市役所	20	津久見市、中部振興局
R1.7.8	宇目ぶどう生産部会総会	佐伯市	8	JAおおいた
R1.7.9	ハウスミカン研修会	杵築市	3	東部局
R1.7.12	ハウスミカン研修会	静岡県伊豆東部	15	JA伊豆太陽
R1.7.17	シャインマスカット若手生産者研修会	宇佐市、豊後高田市、国東市	20	園芸活性化協議会
R1.7.18	和水町みかん生産研究会視察研修会	カボス・中晩柑チーム	30	和水町みかん生産研究会
R1.7.18	日田なしマスターコース研修会(流線型研修)	由布市	50	園芸活性化協議会、由布市、JAおおいた
R1.7.23	越智今治農協果樹研究同志会視察研修会	カボス・中晩柑チーム	8	越智今治農協果樹研究同志会
R1.8.23	令和元年露地みかん研修会	杵築柑橘選果場	60	大分県柑橘研究会
R1.8.29	ハウスミカン研修会	杵築市	4	東部局、中部局
R1.9.3	ハウスミカン研修会	津久見市	3	中部局
R1.9.9~10	シャインマスカット若手生産者先進地視察	福岡県	20	園芸活性化協議会
R1.9.18	シャインマスカット市場品質調査研修会	大分市	10	JAおおいた
R1.9.25	竹田ぶどう部会貯蔵研修会	竹田市	15	JAおおいた
R1.10.7	みかん園検査識別研修会	大分市	15	地域農業振興課
R1.10.10	ハウスミカン研修会	杵築市	30	JAおおいた、東部局、中部局
R1.10.11	JAべっぴん日出柑橘研究会視察対応	カボス・中晩柑チーム	13	JAべっぴん日出柑橘研究会
R1.10.17	JA西宇和農業協同組合視察研修会	カボス・中晩柑チーム	15	JA西宇和
R1.10.28	サンクイーン部会生産者大会	津久見市民会館	30	JAおおいた県南柑橘研究会
R1.10.31	ハウスミカン研修会	杵築市	20	JAおおいた、東部局、中部局
R1.11.11	ハウスみかん全員集会	杵築柑橘選果場	60	JAおおいた杵築柑橘選果場
R1.11.13	ナシ流線型仕立整枝剪定研修	中津市山国町	6	山国梨学校
R1.11.29	ハウスミカン研修会	杵築市	7	JAおおいた、東部局
R1.11.29	若手生産者ナシ栽培技術研修会	日田市小野公民館	69	県園芸活性化協議会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R1.12.13	ハウスミカン研修会	杵築市	5	JAおおいた、東部局
R1.12.23	日田若手ぶどう生産者研修会	宇佐市、豊後高田市	20	JAおおいた
R1.12.26	果樹病虫害防除暦検討会	JAおおいた本店	40	園芸活性化協議会果樹部会
R2.1.16	シャインマスカット若手生産者研修会	大分市	15	園芸活性化協議会
R2.1.21	日田梨大学セミナー	日田市JAひた梨選果場	52	JAおおいた中西部事業部
R2.1.24	山国なし学校剪定研修会	中津市	5	農業公社やまくに
R2.1.27	農大生視察対応	カボス・中晩柑チーム	21	農業大学校
R2.2.7	普及員専門技術研修	カボス・中晩柑チーム	3	地域農業振興課
R2.2.10	ナシ流線型大苗定植研修	由布市庄内町	13	中部振興局
R2.2.13	ハウスミカン研修会	杵築市、津久見市	10	JAおおいた、東部局、中部局
R2.2.13	安心院カボス部会研修	カボス・中晩柑チーム	7	JAおおいた
R2.2.17	ミカンパエ防除対策関係者会議	大分市	30	地域農業振興課
R2.2.17	シャインマスカット若手生産者研修会	大分市	20	園芸活性化協議会
R2.3.19	ハウスミカン研修会	杵築市	10	JAおおいた、東部局、中部局
R2.3.15	シャインマスカット若手生産者研修会	安心院	10	園芸活性化協議会

(2) 受入研修

長期研修者受入

氏名	所属	研修内容	期間
飯田尚暉	大分県農業協同組合東部事業部 営農企画課	柑橘栽培に関する基本的な知識・技術習得	令和元年6月24日～令和2年3月31日

生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	90	410
団体等職員	27	64
改良普及指導員(公務員)	30	96
学生	3	23
海外研修者	0	0
その他	1	21
計	151	614

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
ハウスミカン栽培における適正水分管理技術と省力・高収益栽培技術の開発	ハウスミカンの改植後の未収益期間の短縮と単収向上を図るため、垣根仕立ての栽培技術の普及を図る	杵築市の実証圃において、5年目の加温も着花不足となった。加温は継続中である。その他の初加温の2箇所については、十分な着花量を確保出来ている。
いつも美味しい「おおいたシャインマスカット」生産技術の確立	大量貯蔵での貯蔵リスクを低減させることで、貯蔵量の拡大を目指す	着色袋の活用による抑制栽培技術の実証では、新果実袋の導入戸数が5戸になった。貯蔵果実の管理指導と貯蔵ロス発生原因の明確し、貯蔵ロス(販売不可果実)の発生を8.8%に抑えた。
若者に魅力ある所得2倍の高収益、早期成園化技術「ナシ流線型仕立」の確立	ナシの改植後の未収益期間の短縮と反収向上を図るため、流線型仕立ての栽培技術の普及を図る	流線型仕立ての栽培面積が130a(由布市24a、日田市80a、中津市26a)拡大した。また、九州北部豪雨の被害圃の移設再編が進み、来年度植付け予定の圃地で、基盤整備が行われた。

- 4 花きグループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成31年4月26日現在

組織	職種	職員		技師	労務 技師	業務 技師	事務 補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
管理担当		1					1	2	
企画指導担当			1					1	
花きチーム			7	2		1		10	
計		1	9	2	0	1	1	14	

(3) 業務

花きの栽培および病害虫に関する研究

バイオテクノロジーを活用した品種・農業技術の開発

花きの研究成果の現地普及

優良種苗の供給

花き指導者、生産者に対する研修および現地指導

2. 試験研究課題

農業研究部 花きグループ		担当	連携	研究	予算
試験研究課題名		チーム	機関	期間	区分
大課題、 1中課題 ・研究項目					
「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、					
構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発					
1 構造改革の更なる加速のための技術開発					
・ 新たな品目での統合環境制御による栽培技術開発				R1該当なし	
・ 高収益栽培技術の開発					
1) 芽摘みの省力化によるキクの効率的生産体制の確立		花きチーム	イノチオアグリ(株) 他	R1～3	国庫・県単
2 ブランド化のための技術開発					
・ 地域特性に即した品種選定と栽培技術確立				R1該当なし	
・ オリジナル品目の開発					
1) 遺伝資源を活用したオリジナル花きの育種と栽培技術の確立		花きチーム		H29～R1	県単
・ 新規、高付加価値品目や新たな品種の開発					
1) 日本一のホオズキ産地を支える優良系統育種技術の開発		花きチーム		H29～R1	県単
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発					
・ 新規、高付加価値品目や新たな品種の開発					
1) マーケットニーズに対応した高収益生産技術の確立と新たな花き品目の探索		花きチーム		H30～R2	県単
・ 鮮度、品質保持技術の開発					
1) 他産地の追随を許さない!ホオズキ栽培技術の確立		花きチーム		H29～R1	県単
・ 難防除病害虫防除技術					
1) 花き類の難防除病害防除技術の構築		花きチーム		H30～R2	県単
4 力強い担い手を育成するための技術開発					
・ 統合環境制御技術の開発とマニュアル化					
1) スイートピーの年内収量向上対策と省力化品種の育成		花きチーム		R1～3	県単
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発					
・ 杉皮バーク等地域資源の農業利用技術開発				R1該当なし	
・ 省エネルギー栽培技術、高生産システム技術開発				R1該当なし	
研究を支える基礎調査と優良種苗管理					
・ 戦略品目や推進品目の種苗管理供給及び系統選抜					
1) イチゴ茎頂培養によるウイルスフリー苗の養成		花きチーム		長期	県単
2) 優良種苗の供給		花きチーム			県単
・ 地域固有種の収集、保存				R1該当なし	
・ 葉草の特性把握、品種保存				R1該当なし	

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成30年度花きグループ試験成績書(CD版)	R2.3.31	135	60

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
米田恵美	ホオズキのモザイクおよびえそ症状に対するタバコ微斑モザイクウイルスおよびトマトモザイクウイルス弱毒株の発病抑制効果	九州病害虫研究会報	第65巻	11-17

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R1.8.30	園芸学会九州支部	甲斐克明・米澤円穂	キクの複合環境制御におけるミスト噴霧が気孔開度に及ぼす影響
R1.9.14~15	園芸学会	甲斐克明・米澤円穂	キクの炭酸ガス施用とEOD昇温の効果(ポスター発表)

(4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜花き推進部会 遺伝子研究連絡会	R1.10.16~17	久留米市	1	21
農林水産研究指導センター研究状況報告会	R1.9.10	県庁	1	30
九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会 花き成績設計検討会	R2.1.30~31	久留米市	3	44
農林水産部普及活動・研究成果報告	R2.1.20	県庁	1	10

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R1.6.21	チェリーピー研修会	花きグループ	6	中部振興局
R1.6.26	トルコギキョウ栽培研修会	久住高原農業高校	3	
R1.7.10	べっぴん日出農協花き部会研修会	花きグループ	10	
R1.7.23	専門技術研修	花きグループ	4	地域農業振興課、JAおおいた、杵築市
R1.7.30	専門技術研修	花きグループ	4	地域農業振興課、JAおおいた、杵築市
R1.8.5	少量培地現地研修会	日田市・九重町	3	
R1.8.16	温泉熱利用研究	花きグループ	10	大分上野丘高校
R1.8.19	ほおずき播種研修会	花きグループ	10	地域農業振興課
R1.8.29	少量培地現地研修会	日田市・九重町	3	
R1.9.2	杵築市コギク部会研修	花きグループ	6	東部振興局
R1.9.4	専門技術研修	花きグループ	4	地域農業振興課、JAおおいた、杵築市
R1.9.4~6	別府市立鶴見台中学校職場体験研修	花きグループ	2	別府市教育委員会
R1.9.30	温泉熱利用研究	花きグループ	5	別府市立中部中学校
R1.10.31	別府市立石垣小学校見学	花きグループ	84	別府市立石垣小学校
R1.11.1	日本農薬学会現地視察	花きグループ	52	全農おおいた
R1.11.10	種苗連絡会	全農おおいた	20	全農おおいた
R1.11.26	別府花市場生産組合研修会	花きグループ	9	東部振興局
R1.12.10	専門技術研修	花きグループ	4	地域農業振興課、JAおおいた、杵築市
R1.12.11	専門技術研修	花きグループ	4	地域農業振興課、JAおおいた、杵築市
R1.12.13	専門技術研修	花きグループ	4	地域農業振興課、JAおおいた、杵築市
R1.12.25	日田高校フィールドワーク(温泉熱利用)	花きグループ	35	
R2.1.27	三光トルコギキョウ部会播種研修会	花きグループ	3	北部振興局

（2）受入研修

長期研修者受け入れ

該当なし

生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	6	44
団体等職員	7	35
普及指導員	6	11
学生	0	0
児童・生徒	4	105
海外からの視察者		
その他	9	184
一般来場者	340	1420
計	372	1799

大学
小中高校

（3）指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
スイートピーの優良系統の現地普及	花きグループで育成した優良系統を普及拡大し、農家所得の向上を図る。	主要2産地で8系統を評価した結果、評価の高かった2系統を現地導入することとした。

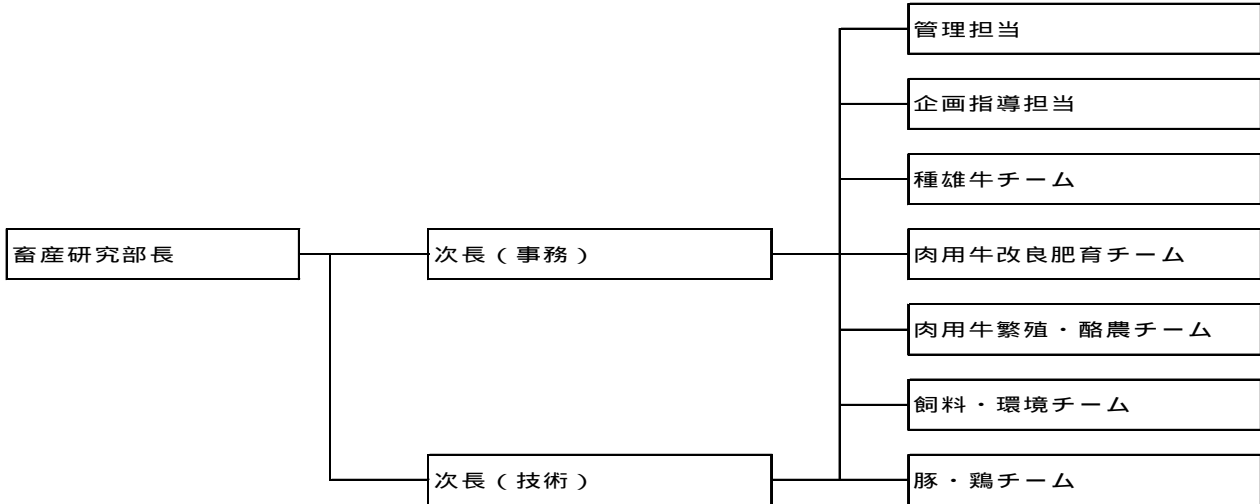
- 5 畜産研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織

1. 組織及び職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成31年4月26日現在

組織	職種	職員		技師	労務 技師	農業 技術員	事務 補佐	計	備考
		事務	技術						
部	長		1					1	
次	長	1	1					2	
管	理	4						4	
企	画		4					4	広域普及指導員2名
種	雄		2	2	1	1		6	
肉	用		4	1	2	1		8	
肉	用		5	5	2	1		13	
飼	料		4	3		1		8	
豚	・		7	2	3	1		13	
豚	・		7	2	3	1		13	
計		5	28	13	8	5	0	59	

(3) 業務

- 肉用牛の改良増殖、種雄牛造成並びに精液供給
- 肉用牛の飼養技術及び繁殖技術
- 乳用牛の飼養技術及び繁殖技術
- 牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策
- 豚の育種、飼養技術並びに精液供給
- 家さんの育種並びに飼養技術

2. 試験研究課題

畜産研究部					
試験研究課題名		担当	連携	研究	予算
大課題、 1中課題 ・研究項目		チーム	機関	期間	区分
「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、					
構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発					
1 構造改革の更なる加速のための技術開発					
・ 肉用牛・酪農の生産性向上と粗飼料基盤確立のための技術開発					
	1) 和牛肥育期間の大幅な短縮技術の開発	肉用牛繁殖・酪農	農研機構・関係各県・大学等	H28～R2	国庫
	2) 県産飼料の利用を高めた肥育体系の開発	肉用牛繁殖・酪農	大分家保	R1～R3	県単
	3) 周年親子放牧に適した牧草種の選定及び冬季飼料資源の開発	飼料・環境	農研機構・関係各県	H28～R2	国庫
・ ICTを活用したワークライフバランスを実現する技術の開発					
	1) 乳用牛における分娩間隔の短縮に向けた発情検知システムの開発	肉用牛繁殖・酪農	農研機構・産科・リモート	H30～R2	県単
2 ブランド化のための技術開発					
・ 「おおいた豊後牛」銘柄確立のための優秀種雄牛 の造成				R1該当なし	
・ 生産者の所得向上を目指した「ス・パ・母豚」自農場作出システムの構築				R1該当なし	
・ 優秀種豚造成のための豚凍結精液等の技術の開発					
	1) LED光線管理による効率的豚人工授精法の確立	豚・鶏	広島大学	R1～R3	県単
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発					
・ 高品質で安全性の高い牛肉生産を支える技術開発による美味しい「おおいた豊後牛」肥育技術の確立					
	1) 酪酸ナトリウムによる哺乳子牛育成技術の確立	肉用牛繁殖・酪農	広島大学	R1～R3	県単
・ 「Theおおいたブランド」 農産物を飼料に活用した「おおいた冠地どり」の銘柄強化				R1該当なし	
・ 高付加価値地鶏の作出					
	1) 商品性の高い「おおいた冠地どり」を支える増体向上技術の開発	豚・鶏		H30～R2	県単
4 力強い担い手を育成するための技術開発					
・ 牛の受胎率向上技術の開発					
	1) 生産者の所得向上を目指した雌雄産み分け技術の確立	肉用牛繁殖・酪農、豚・鶏	広島大学	H30～R2	県単
・ 最新繁殖技術を支える受精卵移植 技術の開発				R1該当なし	
・ 地鶏の遺伝子保存による安定生産及び安定供給				R1該当なし	
・ 県産粗飼料の品質の強化				R1該当なし	
・ 堆肥を活用した自給飼料基盤拡大のための技術開発				R1該当なし	
・ 新草種等の栽培・貯蔵技術の開発				R1該当なし	
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発					
・ 低コスト経営のための未利用資源を活用した飼料開発					
	1) 未利用「麦焼酎粕ケーキ」混合物の飼料化技術の開発	飼料・環境	大分家保	H30～R2	県単
	2) 黒麹菌給与による家畜の生産性改善技術の確立	飼料・環境、肉用牛繁殖・酪農、豚・鶏		R1～R3	県単
・ 未利用資源の活用による豚ブランド力の強化					
	1) 未利用資源(もやしサイレージ)を利用した豚の低コスト肥育技術の確立	豚・鶏		R1～R2	県単
・ 家畜利用の農村環境保全				R1該当なし	
研究を支える基礎調査と優良種苗管理					
・ 優秀種雄牛の造成					
	1) 種雄牛検定				
	(1) 直接法	肉用牛改良肥育		長期	県単
	(2) 現場後代法	肉用牛改良肥育		長期	県単
	2) 大分県種雄牛の産肉性に関する遺伝子領域解析及び効果検証	肉用牛改良肥育	家畜改良センター、関係各県	長期	県単
・ 牧草、飼料作物の優良品種・系統の選定					
	1) 牧草類・飼料作物の奨励品種選定試験				
	(1) とうもろこし	飼料・環境	九州沖縄農研、九州各県	長期	県単
	(2) イタリアンライグラス	飼料・環境	九州沖縄農研、九州各県	長期	県単
	(3) ソルガム	飼料・環境	九州沖縄農研、九州各県	長期	県単
・ 高品質豚生産のための種豚改良 L・W・Dの系統維持・増殖					
	1) 原種豚の改良維持及び増殖				
	(1) ランドレース種の血統維持・増殖	豚・鶏		長期	県単
	(2) 大トークシャー種の改良増殖	豚・鶏		長期	県単
	(3) デュロック種の能力維持	豚・鶏		長期	県単
・ 原種禽の系統維持及び増殖					
	1) 原種禽の系統維持及び増殖				
	(1) 「豊のしゃも」原種鶏	豚・鶏	熊本農研、宮崎畜試	長期	県単
	(2) 「おおいた冠地どり」原種鶏	豚・鶏		長期	県単
	(3) 「おおいた烏骨鶏」原種鶏	豚・鶏		長期	県単

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数	
大分県種雄牛名簿・肉用牛現場後代検定成績	R1. 6. 1	1	2,000	畜産研究部監修
平成30年度 畜産研究部試験成績報告	R1.11.15	29	HP	

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
Katsuhiko Tsuruoka, Takami kurahara, Hidenobu Kanamaru, Hideyuki Takahashi, Takafumi Gotoh	Effects of feeding condensed barley distillers soluble on growth rate, ruminal fermentation, plasma metabolites, and myofiber properties of the longissimus thoracis muscle in Japanese Black calves	Animal Science Journal	Vol.90	637-648
Katsuhiko Tsuruoka, Takami kurahara, Hidenobu Kanamaru, Hideyuki Takahashi, Takafumi Gotoh	Effect of feeding rice whole crop silage on growth rate, levels of vitamin A, -carotene, vitamin E and IGF-1 in plasma and skeletal muscle protein degradation in Japanese Black calves	Animal Science Journal	Vol.90	728-736
山岡達也	新時代の種雄牛紹介 大分県	養牛の友	12月号	72-73

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R1. 9. 10	第1回 農林水産研究指導センター研究状況報告会	池堂萌果	生産者の所得向上を目指した雌雄生み分け技術の確立
R1.10.26-27	日本暖地畜産学会大分大会	稲垣望・利光昭彦	食肉脂質測定装置を用いた豚肉脂質測定システムの開発と豚肉脂肪中のオレイン酸含有率向上技術の確立
		小倉初音・木村誠司・中原菜奈子	水分の異なる粉末サイレージの長期保存性の比較
		滝澤亮・倉原貴美	乳用種育成牛由来雌判別受精卵を活用した経産牛の分娩間隔短縮に向けた取り組み
R1.12.6	令和元年度 大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会	寺山将平・佐藤亘・飯田賢	産肉性に関するゲノム育種価評価法の確立と肉用牛改良速度向上への取り組み
		池堂萌果・堀浩司	生産者の所得向上を目指した雌雄生み分け技術の確立
		森本慎思	大分県における乳牛後継牛育成預託牧場の取り組み
		稲垣望・志村英明・佐藤邦雄・後藤雅昭・利光昭彦	食肉脂質測定装置を用いた豚肉脂質測定システムの開発と豚肉脂肪中のオレイン酸含有率向上技術の確立
R1.12.19	The 8th international Conference on BioSensors, BioElectronics, BioMedical Devices, BioMEMS/NEMS & Applications 2019	Haruichi Kanaya, Mohamed M. mansour, Shuya Yamamoto, Osamu Takiguchi, Moeka Ikedo, Koji Hori, Hideyuki Takahashi	Battery-less Vital Sensor Platform for Cattle

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
牛及び豚における簡便かつ安価な雌雄産み分け技術の開発に係る記者説明会	R1. 8. 9	広島大学 東京オフィス	1	20
第1回 農林水産研究指導センター研究状況報告会 再掲：(3)研究会、学会等での発表	R1. 9. 10	県庁舎本館	1	44
令和元年度 大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会 :再掲(3)研究会、学会等での発表	R1.12.6	県庁舎本館	4	100

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催(1/2)

ア 講習会、研修会等

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H31.4.15	庄内町肉用牛改良育種組合研修会	由布市畜産センター	30	庄内町肉用牛改良育種組合
R1.5.30	由布市肉用牛育種改良組合総会・研修会	由布市畜産センター	55	由布市肉用牛育種改良組合
R1.7.26	大分県学校農業クラブ家畜審査競技会	部内	22	大分県学校農業クラブ連盟
R1.9.19	玖珠美山高校講義(牛のゲノムについて)	玖珠美山高校	6	玖珠美山高校
R1.12.12	佐伯市和牛改良組合研修会	佐伯市役所	20	佐伯市和牛改良組合
R1.12.17	久住和牛振興会研修会	竹田市畜産センター	25	久住町和牛振興会青年部
R2.1.30	西部家畜人工授精師会研修会	玖珠町望山荘	30	大分県西部家畜人工授精師会
R2.2.7	大分県肉用牛改良研修会	別府市バストラル	112	大分県肉用牛改良組合連合会
R2.2.21	豊後大野市家畜人工授精師協会研修会	豊後大野市三重町	20	豊後大野市家畜人工授精師協会
イ 畜産共進会				
R1.7.7-8	杵築市畜産共進会(巡回)	杵築市内	18	杵築市畜産品評会
R1.7.16	国東市畜産共進会(巡回)	国東市内	10	国東市畜産組合
R1.7.22	杵築市畜産共進会枝肉の部	大分県畜産公社	20	杵築市畜産品評会
R1.7.24	竹田市畜産共進会竹田予選会	豊後豊肥市場	60	竹田市畜産共進会
R1.7.26	玖珠九重農協畜産品評会	豊後玖珠市場	80	玖珠九重農協
R1.7.30	飯田地区畜産品評会	九重町飯田	50	九重町飯田農協他
R1.7.30	竹田市畜産共進会久住予選会	竹田市畜産センター	150	竹田市畜産共進会
R1.8.7	東部地域畜産共進会	豊後北部市場	100	東部地域畜産振興会
R1.8.29	竹田市畜産共進会	竹田市畜産センター	80	竹田市畜産共進会他
R1.8.30	佐伯市畜産共進会	旧弥生家畜市場	60	佐伯市畜産振興会
R1.8.30	豊後大野市畜産共進会	豊後豊肥市場	100	豊後大野市畜産振興協議会
R1.9.4	日田市畜産共進会	豊後玖珠市場	60	日田地域畜産振興会
R1.9.6	玖珠郡畜産品評会	豊後玖珠市場	120	玖珠郡地域畜産振興会
R1.9.20	大分地方畜産共進会	由布市庄内町	80	中央地域畜産振興会
R1.10.5	大分県畜産共進会(肉牛の部)	大分県畜産公社	100	大分県畜産協会他
R1.10.10	大分県畜産共進会(乳牛の部)	みどりの王国	80	大分県畜産協会他
R1.10.26	大分県畜産共進会(肉用牛の部)	別府市	100	

(1) 講習会、研修会等の開催(2/2)

ウ 精液譲渡				
H31.4.3	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
H31.4.9	西部地域精液譲渡	玖珠家畜保健衛生所	30	
H31.4.15	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
H31.4.24	豊肥・南部地域精液譲渡	豊後豊肥市場	30	
H31.4.25	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R1.5.8	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R1.5.14	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R1.5.16	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R1.5.17	西部地域精液譲渡	玖珠家畜保健衛生所	30	
R1.6.4	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R1.6.7	西部地域精液譲渡	玖珠家畜保健衛生所	30	
R1.6.13	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R1.6.25	豊肥・南部地域精液譲渡	豊後豊肥市場	30	
R1.6.26	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R1.8.5	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R1.8.7	西部地域精液譲渡	玖珠家畜保健衛生所	30	
R1.8.16	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R1.8.23	豊肥・南部地域精液譲渡	豊後豊肥市場	30	
R1.8.27	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R1.9.6	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R1.9.11	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R1.9.13	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R1.9.18	西部地域精液譲渡	玖珠家畜保健衛生所	30	
R1.10.4	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R1.10.8	西部地域精液譲渡	玖珠家畜保健衛生所	30	
R1.10.15	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R1.10.24	豊肥・南部地域精液譲渡	豊後豊肥市場	30	
R1.10.28	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R1.11.8	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R1.11.14	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R1.11.15	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R1.11.18	西部地域精液譲渡	玖珠家畜保健衛生所	30	
R1.12.4	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R1.12.9	西部地域精液譲渡	玖珠家畜保健衛生所	30	
R1.12.16	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R1.12.24	豊肥・南部地域精液譲渡	豊後豊肥市場	30	
R1.12.25	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R2.1.8	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R2.1.15	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R2.1.17	西部地域精液譲渡	玖珠家畜保健衛生所	30	
R2.2.4	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R2.2.7	西部地域精液譲渡	玖珠家畜保健衛生所	30	
R2.2.13	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R2.2.26	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R2.3.6	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R2.3.13	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R2.3.16	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R2.3.17	西部地域精液譲渡	玖珠家畜保健衛生所	30	

(2) 受入研修
長期研修受け入れ

対象者	所属	研修内容	期間
研修生1名	玖珠町	大分県立農業大学校 就農準備研修畜産コース	4月5日～3月5日
受講者5名	県内	家畜体内受精卵移植講習会	6月24日～7月23日
学生1名	宮崎大学 農学部	インターンシップ研修	9月2日～9月13日
受講者14名	県内	家畜人工授精(牛)講習会	11月5日～12月3日

生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	6	80
団体等職員	6	29
普及指導員	0	0
学生	8	102
児童・生徒	7	133
海外からの視察者	0	0
その他	1	16
計	28	360

大学
小中高校

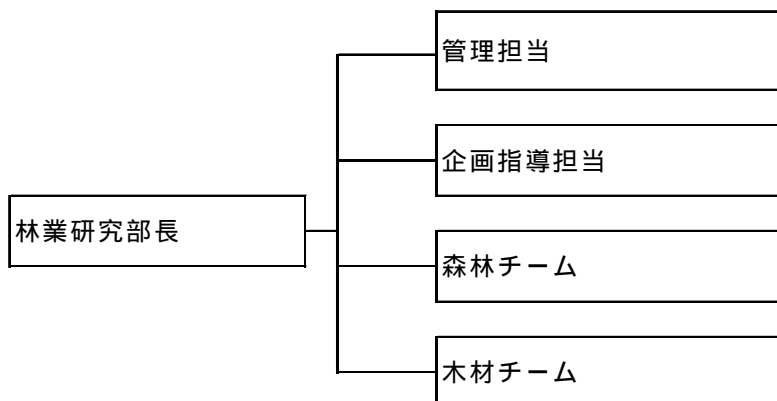
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
大分県種雄牛の産肉性に関する遺伝子領域解析および効果検証	ゲノム解析を活用した繁殖雌牛の保留を推進することで、高能力雌牛群の造成を図る。	ゲノム解析結果判明高能力肉用雌牛311頭中、213頭を保留見込み。
商品性の高い「おおいた冠地どり」を支える増体向上技術の開発	飼料給与体系の改善により「おおいた冠地どり」の育成率と出荷体重の向上を図る。	農場巡回指導や出荷成績の分析等を行い、4～1月間の成績は育成率は96.4% (目標95%)、出荷体重は3.21kg (目標3.2kg)へ向上。

- 6 林業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成31年4月26日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部	長		1					1	
管	理	2						2	
企	画		3(1)					3(1)	(兼)林務管理課広域普及指導員1名
森	林		5			1		6	
木	材		6(1)					6(1)	(兼)産業科学技術センター 製品開発支援担当主幹研究員1名
	計	2	15(2)	0	0	1	0	18(2)	

(3) 業務

育種・育林技術の開発に関する試験研究

環境を守る森林整備に関する試験研究

県産材の需要拡大に関する試験研究

2. 試験研究課題

林業研究部				
試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目				
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ ICT技術を活用した高生産システムの開発			R元該当なし	
・ 非住宅や高層建築の木造・木質化の推進を図る新たな木質材料の開発				
1) 一般流通製材を用いた大断面柱材の開発	木材チーム	なし	H29～R元	県単
・ CLT等大型木造建築物への接合技術※(GIR、LSB等)の開発			R元該当なし	
・ スギ・ヒノキ材の不燃技術の開発			R元該当なし	
・ セルロースナノファイバー※等を活用した新素材の開発			R元該当なし	
2 ブランド化のための技術開発				
・ 造林樹種における優良品種の選抜				
1) スギ推奨品種さし木苗の増産に関する研究Ⅱ	森林チーム	なし	H30～R2	県単
2) 次世代の森林づくりに向けたヒノキ優良品種の選抜	森林チーム	なし	H29～R元	県単
・ 低コスト育林技術の開発・実証			R元該当なし	
・ ブランド化を目指したオール県産材家具、工芸品の開発			R元該当なし	
・ 遺伝子工学を利用した品種改良			R元該当なし	
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速するための技術開発				
・ 造林樹種における優良品種の選抜			R元該当なし	
・ スギ大径材の効率的な製材・乾燥技術の開発				
1) 非住宅分野の木造化に対応する大断面製材品の強度性能評価	木材チーム	なし	H30～R2	県単
2) 寸法安定性の高い高品質乾燥材生産技術の開発	木材チーム	なし	H30～R2	県単
3) 県産スギ大径材の有効利用技術の開発	木材チーム	なし	R元～R3	県単
・ 桎組壁工法への県産スギ・ヒノキ利用技術の開発			R元該当なし	
・ 土場・市場等での丸太選別技術(強度/含水率等)の開発			R元該当なし	
・ 中・大規模木造建築物等の維持管理技術(居住性・耐久性等)の開発			R元該当なし	
・ マイクロ波等を活用した高速・高品質乾燥技術の開発			R元該当なし	
・ 早生樹等の材質特性(強度・加工・耐久性)と利用技術の開発			R元該当なし	
・ 薬用系機能性樹木の栽培技術の開発			R元該当なし	
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ スギ挿し木苗の増産技術の確立			R元該当なし	
・ ロボット等作業負荷軽減システムの開発			R元該当なし	
・ 早生品種の選抜と育林技術の確立システムの確立			R元該当なし	
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・ 森林病虫害対策			R元該当なし	
・ 強毒性センチュウに対応する抵抗性マツの選抜			R元該当なし	
・ 伐採が及ぼす公益的機能への影響調査			R元該当なし	
・ 災害に強い森林づくり技術の確立			R元該当なし	
・ シカ捕獲対策の推進				
1) 再造林に欠かせないシカ害防除技術の確立	森林チーム	なし	H30～R2	県単
・ 県産材の抽出成分(精油等)利用技術の開発			R元該当なし	
・ 竹材・未利用材の有効活用技術の開発			R元該当なし	
・ 県産広葉樹を活用した木育製品の開発と普及			R元該当なし	
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・ スギ雄花着生状況調査(花粉飛散量予測と雄花生産量の把握)				
1) スギ花粉発生源地域推定事業	森林チーム	なし	R元	受託 (全林協)
・ 森林病虫害モニタリング(カシノナガキクイムシ等)			R元該当なし	
・ 優良種穂供給と苗木生産者への技術支援			R元該当なし	

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成30年度林業試験場年報（第61号）	R1. 5. 31	78	200
大分県収穫表改訂調査報告書	R1. 9. 4	28	HP
林研だより（第81号）	R2. 3. 19	8	HP

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻（号）	掲載頁
高宮立身	大分県立武道スポーツセンター建設に関わって —木材調達と強度性能評価のプロセス—	木材科学情報	26巻2号 2019	32-33

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R1.10.26	第75回九州森林学会大会	豆田 俊治	シカ被害防止用の防護資材による 防護効果の比較
R1.10.26	第75回九州森林学会大会	姫野 早和	スギミニ穂の秋期さし付けにおける 複数の密閉さし手法の検討
R1.10.26	第75回九州森林学会大会	佐藤 太郎	空中さし木法によるスギさし木発根性の 季節変化について

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和元年度 企業技術研修	R1. 12. 14	林業研究部	講演：1 課題	33
令和元年度 第2回 農林水産研究指導センター研究状況報告会	R1. 12. 20	県庁舎本館	発表：1 課題	44
令和元年度 農林水産研究指導センター 林業研究部 研究発表会	R2. 1. 30	林業研究部	口頭発表：3課題	86

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R1.5.20	おおいた林業アカデミー「木材の特性」	大分県林業研修所	9	(公財)森林ネットおおいた
R1.6.10	令和元年度林業普及技術等習得研修(林業一般)	大分県庁舎	9	大分県
R1.7.1 R1.7.8 R1.7.18	大分県立農業大学校講義	大分県立農業大学校	53	大分県立農業大学校
R1.7.22	令和元年度林業全般基礎研修(Ⅱ)前期	林業研究部	9	大分県
R1.7.22	おおいた林業アカデミー「森林調査におけるドローンの活用について」	大分県林業研修所及び森林現場	9	(公財)森林ネットおおいた
R1.7.23	令和元年度試験研究機関における実践研修	林業研究部	3	大分県
R1.7.24	木材・林業セミナー	佐伯広域森林組合	30	佐伯広域森林組合
R1.9.4	林業種苗生産事業者講習会	大分県庁舎	9	大分県
R1.9.18	SSH指定校・大分県立日田高等学校「日田の林業に関する探求活動」	林業研究部	30	大分県立日田高等学校
R1.10.25	林業全般基礎研修Ⅰ(後期)	林業研究部きのこグループ	13	大分県
R1.10.30	フォレストワーカー集合研修(3年目)「木材の特性について」	大分県林業研修所	23	(公財)森林ネットおおいた
R1.11.25	苗木生産初心者研修	大分県林業研修所	9	(公財)森林ネットおおいた
R1.12.14	企業技術研修「椅子張りの基礎技術」	林業研究部	33	協同組合日田家具工業会
R2.2.13	森林整備講習会	パトリア日田	100	日田市森林組合
R2.2.28	シンポジウム「早生樹最前線 II-1」	九州大学椎木講堂	80	日本木材加工技術協会九州支部 国産早生樹連絡会

(2) 受入研修

長期研修受け入れ
該当なし

生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	26	50
団体等職員	74	350
普及指導員	4	10
学生	5	86
児童・生徒	3	78
海外からの視察者	0	0
その他	43	126
計	155	700

※大学・インターンシップ

※小中高校

企業支援

③企業支援

区分	件数	金額（円）
依頼試験	22	741,479
機械貸付	569	354,660
技術相談	131	-
企業訪問	37	-

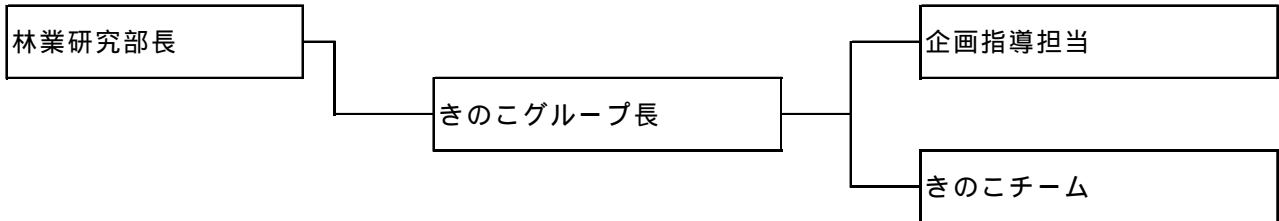
(3)指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
家具産業ブランディングと県産材利用拡大のための技術・技能の向上支援研究	家具産業の技術向上及び、認定職業訓練実施を支援することによる産地ブランドイメージの向上	日田家具工業会が取組む職業訓練のための認定申請を支援。3/13認定。日田家具工業会共催による企業技術研修「椅子張りの基礎技術」を実施。33名受講。

- 7 きのごグループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成31年4月26日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
企画指導担当			3					3	広域普及指導員2名
きのごチーム			5			1		6	
計		0	9	0	0	1	0	10	

(3) 業務

- シイタケを始めとするきのご類の栽培技術の改善・開発
- 栽培きのご類の育種技術による品種の改良・開発
- 温暖化に対応した乾シイタケ安定生産技術の開発
- クヌギチップを利用した菌床シイタケ及びキクラゲ栽培技術の研究
- 病害虫等の防除技術の研究・普及
- きのご類の分類・同定
- 有用きのご類の遺伝子収集・保存による育種素材の確保
- 研究成果の普及及び栽培技術指導
- 新規参入者の研修・技術指導
- 栽培技術情報の収集・管理と情報発信

2. 試験研究課題

林業研究部 きのこグループ

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
大課題、 1中課題 ・研究項目 「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、				
構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ しいたけ栽培における省エネルギー及び施設利用技術の開発				
1) LEDを活用した菌床シイタケ栽培技術の改善	きのこ	女子栄養大学	H30～R2	県単
・ しいたけ栽培の軽労働化技術の開発			R1該当なし	
2 ブランド化のための技術開発				
・ きのこ類のブランド化に向けた品種開発				
1) 大分県の気象条件に適合した乾シイタケ品種の育成				
(1) シイタケのオリジナル品種の育成	きのこ		R1～4	県単
(2) ナメコの優良品種の開発			R1該当なし	
(3) マーカー利用選抜による気候変動に適応した菌床栽培用シイタケ品種の開発	きのこ	森林総合研究所	H28～R2	国庫
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発				
・ しいたけの食味や機能性等の食品としての特性評価				
1) 乾シイタケ機能性成分増加技術の確立	きのこ	女子栄養大学	R1～3	県単
2) 農林水産物の輸出拡大のためのきのこ類の品質向上			R1該当なし	
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ しいたけの生産力強化に向けた技術開発				
1) シイタケの原木栽培技術の確立				
(1) 乾シイタケ栽培における効率的発生操作技術の開発			R1該当なし	
(2) 原木シイタケの単収向上を目指した2年目発生操作技術の開発	きのこ		H29～R2	県単
(3) 原木生シイタケ栽培における冬期の生産量向上技術に関する研究			R1該当なし	
(4) 温暖化に対応した 乾シイタケ栽培技術の開発	きのこ		H30～R3	県単
2) きのこ類の病虫害防除技術の確立				
(1) きのこ類栽培における害虫類の生態解明と防除技術			R1該当なし	
(2) 高品質シイタケ安定生産に向けた天敵利用によるケミカルレスな害虫			R1該当なし	
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・ クヌギチップや食品加工副産物等を利用したきのこ類栽培技術の確立				
1) 地域資源を活用した新たなきのこ栽培に関する研究	きのこ		R1該当なし	
研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・ 野生きのこ類の遺伝子収集と保存	きのこ		H元～	県単

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
林業研究部きのこグループ業務年報(第30号)	R元年10月	65	250
情報誌「くらんぷ」第50号	R元年12月	8	1,500

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
十時 しおり・石原 宏基・飯田 千恵美	乾シイタケ原木栽培における打木処理の効果について	九州森林研究	73	143-145
彌田 涼子・十時 しおり・石原 宏基・大賀 祥治	培養中のLED照射がシイタケ子実体のエルゴチオネイン含有量に及ぼす影響	九州森林研究	73	147-149
村上 康明・石原 宏基	きのこ栽培における害虫類の生態解明と防除技術の開発	公立林業試験研究機関研究成果選集	17	65-66

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R1.10.26	第75回九州森林学会大会	十時 しおり・石原 宏基・ 飯田 千恵美	乾シイタケ原木栽培における打木処理の 効果について
R1.10.26	第75回九州森林学会大会	彌田 涼子・十時 しおり・ 石原 宏基・大賀 祥治	培養中のLED照射がシイタケ子実体のエ ルゴチオネイン含有量に及ぼす影響

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和元年度きのこグループ研究発 表会	R1.12.11	きのこグループ	研究発表 3 情報提供 2	70
令和2年度第2回農林水産研究指 導センター研究状況報告会 (新ブランドの創出に向けた乾シイ タケの味覚と機能性に関する研究)	R1.12.20	県庁舎本館 91会議室	1	44

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

ア. 林業普及指導員研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R1.6.20	令和元年度試験研究機関における実践研修	きのこグループ	4	林務管理課
R1.8.8	令和元年度試験研究機関における実践研修	きのこグループ、宇目町	3	林務管理課
R1.10.28	令和元年度試験研究機関における実践研修	きのこグループ	3	林務管理課
R1.11.28	新任普及員研修(生シイタケ・菌床シイタケ)	きのこグループ	3	林務管理課
R1.11.29	新任普及員研修(生シイタケ・菌床シイタケ)	きのこグループ	3	林務管理課
R1.12.6	新任普及員研修(生シイタケ・菌床シイタケ)	きのこグループ	3	林務管理課
R2.2.3	令和元年度試験研究機関における実践研修4回目(乾)	きのこグループ	2	林務管理課

21

イ. 林業普及技術習得研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R1.6.10	林業普及技術習得研修	県庁別館	8	林務管理課
R1.9.30	令和元年度広域普及指導員プロジェクト研修会	きのこグループ	12	
R1.10.18	令和元年度林業全般基礎研修()後期	きのこグループ	11	林務管理課
R1.11.6	令和元年度林業全般基礎研修()後期	きのこグループ	9	林務管理課

40

ウ. 大分しいたけ源兵衛塾(第10期)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R1.8.19	第10期大分しいたけ源兵衛塾第5回研修会	昭和電工ドーム、大分市	34	大分県椎茸振興協議会
R1.12.17	第10期大分しいたけ源兵衛塾第6回研修会	北部振興局、耶馬溪町	30	大分県椎茸振興協議会
R2.1.27	第10期大分しいたけ源兵衛塾第7回研修会	湯布院町、安心院町	26	大分県椎茸振興協議会
R2.3.5	第10期大分しいたけ源兵衛塾第8回研修会(卒業式)	きのこグループ	18	大分県椎茸振興協議会

108

エ. 新規参入者研修(栽培体験コースを含む)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R1.9.8	令和元年度原木しいたけ新規参入者研修	きのこグループ	42	林産振興室
R1.9.18	大分西部原木しいたけ栽培基礎研修会	西部振興局	15	大分西部流域林業活性化センター
R1.9.27	令和元年度原木しいたけ新規参入者ステップアップ研修会	東部局	24	東部地区森林活性化協議会
R1.10.11	令和元年度原木しいたけ新規参入者研修	きのこグループ	26	林産振興室
R1.11.26	令和元年度シイタケ版ファーマーズスクール合同研修会	玖珠庁舎	17	林産振興室
R2.1.28	第2回原木椎茸栽培新規参入者ステップアップ研修	宇佐市	34	北部・東部地区森林・林業活性化協議会
R2.2.23	令和元年度原木しいたけ新規参入者研修	きのこグループ	26	林産振興室

184

オ. きのこ生産研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H31.4.6	大分県原木生椎茸出荷促進事業部会京都出荷反省会	大分市丹川	50	大分県原木生椎茸出荷推進事業部会
R1.6.28	大分県農林漁業振興協議会研修会	きのこグループ	15	大分県農林漁業振興協議会
R1.6.28	大分県原木生椎茸出荷推進事業部会総会・研修会	昭和電工ドーム	49	大分県原木生椎茸出荷推進事業部会
R1.7.25	中津市原木生しいたけ研究会研修会	いずもや	12	中津市原木生しいたけ研究会
R1.8.20	生しいたけ生産流通懇談会総会・研修会	由布市(由布のしいたけ)	9	生しいたけ生産流通懇談会
R1.8.23	OSK久大地区連合会研修会	リバーサイド山水館	60	OSK久大地区椎茸生産小組合連合会
R1.8.29	OSK中央支部女性部 乾椎茸栽培技術研修会	きのこグループ	13	OSK中央支部女性部
R1.9.3	OSK国東支部夏期講習会	ホテルベイグランド国東	110	OSK、国東地区椎茸生産小組合連合会
R1.9.20	OSK中央地区椎茸生産小組合連合会研修会	きのこグループ	22	OSK中央地区椎茸生産小組合連合会
R1.9.24	秋期栽培研修会	きのこグループ	100	OSK県南地区生産小組合連合会
R1.9.27	ナメコ栽培研修会	豊後大野市清川支所、現地	13	清川町づくり協議会
R1.10.7	大分県原木生椎茸出荷事業部会出荷説明会、研修会	JA全農おいた	57	大分県原木生椎茸出荷推進事業部会
R1.10.31	令和元年度西部地区原木椎茸伏せ込み現地調査及び発生操作研修会	西部振興局管内	25	西部局、OSK久大地区椎茸生産小組合連合会日田分会
R1.11.5	中津市原木生しいたけ研究会研修会	いずもや	9	中津市原木生しいたけ研究会
R1.12.11	きのこグループ研究発表会	きのこグループ	70	きのこグループ
R1.12.20	JAおいた中西部事業部研修会	きのこグループ	12	JAおいた中西部事業部椎茸部会
R2.1.17	竹田市ほだ場コンクール	OSK竹田支部管内	15	竹田市椎茸生産振興会
R2.1.25	玖珠九重農協生椎茸部会総会	季の里 山の湯	33	玖珠九重農協生椎茸部会
R2.3.23	国東市原木シイタケ栽培技術検討会	東部振興局	11	東部振興局

685

カ. 人材育成研修等

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R1.5.28	大分林業アカデミー研修	きのこグループ	12	森林ネットおおいた
R1.5.29	農業大学校講義 作目栽培 (椎茸)	きのこグループ	12	農業大学校
R1.10.11	大分林業アカデミー講義	大分県林業研修所	4	森林ネットおおいた

28

キ. 関係団体総会・会議

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R1.6.19	第1回椎茸技術者会議	きのこグループ	15	

15

ク. 品評会関係

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H31.4.16	第13回東部地区乾椎茸品評会審査会	国東市安岐総合支所	9	
H31.4.17	おのぼり会選別研修会	竹田市直入支所	21	
H31.4.22	竹田市乾椎茸品評会審査会	OSK竹田支部	14	
H31.4.23	第8回豊後大野市乾椎茸品評会審査会	豊後大野市総合文化センター	25	豊後大野市椎茸振興会
H31.4.23	豊後高田市乾椎茸品評会審査会	豊後高田市コスモホール	7	豊後高田市椎茸生産組合
H31.4.24	第15回佐伯市乾椎茸品評会審査会	OSK県南支部会議室	12	佐伯地区乾椎茸生産組合連絡協議会
H31.4.24	平成31年度豊後高田市椎茸生産組合通常総会及び品評会表彰式及び研修会	豊後高田市コスモホール	44	豊後高田市椎茸生産組合
H31.4.25	平成31年度宇佐市乾椎茸品評会審査会	宇佐市院内支所	8	宇佐市椎茸栽培推進協議会
H31.4.25	平成31年度宇佐市椎茸生産組合通常総会及び品評会表彰式及び研修会	宇佐市院内支所	38	宇佐市椎茸栽培推進協議会
R1.5.10	大分県乾椎茸品評会審査会(箱物)	OSK低温倉庫	24	大分県椎茸農業協同組合
R1.5.21	大分県乾椎茸品評会審査会(袋物)	OSK低温倉庫	42	大分県椎茸農業協同組合
R1.5.22	大分県乾椎茸品評会審査会(袋物)	OSK低温倉庫	42	大分県椎茸農業協同組合
R1.6.8	第62回大分県乾椎茸品評会表彰式	OSK流通センター		大分県椎茸農業協同組合
R1.11.18	生椎茸品評会審査会	明野アクロス	25	大分県椎茸振興協議会
R1.11.19	生椎茸品評会表彰式	明野アクロス	84	大分県椎茸振興協議会

365

ケ. 一般消費者関係

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H31.4.22	ラグビーワールドカップ大分県特産食材「乾シイタケチップス」試食会	大分県教育指導センター	51	大分県ブランド推進課
R1.7.9	新田小学校第1回しいたけ教室	きのこグループ	13	林務管理課・豊肥振興局
R1.8.1	王将椎茸新任営業職員研修および視察	きのこグループ	3	王将椎茸株式会社
R1.10.15	生しいたけ旬入り宣言式	大分市公設卸売市場		林産振興室
R1.10.26	大分県農林水産祭	別府市		大分県農林水産部
R1.11.9	農業大学校祭	豊後大野市		農業大学校
R2.2.22	生しいたけ販売促進活動(副知事トップセールス)	京都市		林産振興室

67

（2）受入研修

長期研修受け入れ

氏名	所属	研修内容	期間
後藤 賢明		菌床製造方法及び培養等の技術習得	令和2年2月20～3月31日

生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	30	977
団体等職員	0	0
普及指導員	11	61
学生	3	28
児童・生徒	1	13
海外からの視察者	0	0
その他	0	0
合計	45	1,079

（3）指導・研修プロジェクトの実証

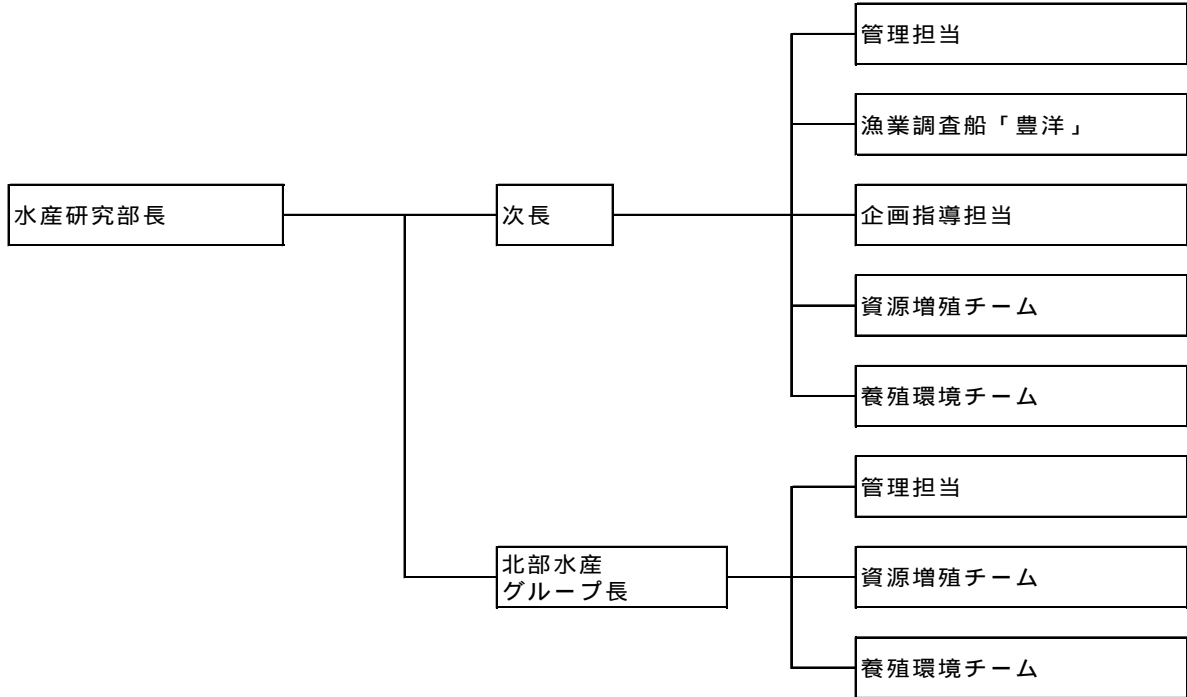
課題名	目的	現地実証等の概要
乾シイタケ原木栽培の単収向上技術の普及	単収向上に向けた夏期の伏せ込み管理技術及び冬期生産量向上技術の普及定着	・伏せ込み環境改善モデル現地および冬期生産量向上技術モデル現地在各6箇所選定した。 ・現地研修会を63回実施した。

- 8 水産研究部(北部水産グループ含む())

(浅海・内水面グループのうち、内水面チームは平成31年(2019年)3月31日施設廃止、4月25日組織廃止、平成31年(2019年)4月26日より「浅海・内水面グループ」から「北部水産グループ」に改称)

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成31年4月26日現在

組織		職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
			事務	技術						
水産研究部	上浦	部長		1					1	海事職員7名
		次長	1						1	
		管理担当	2						2	
		漁業調査船「豊洋」		7					7	
		企画指導担当		2					2	
		資源増殖チーム		7					7	
	養殖環境チーム		8					8		
	北部水産グループ	グループ長		1					1	
		管理担当	1						1	
		資源増殖チーム		5					5	
		養殖環境チーム		5				5		
計			4	36	0	0	0	0	40	

(3) 業務

- 漁業の調査研究に関すること
- 漁業の生産及び技術指導に関すること
- 水産動植物の増養殖に関すること
- 漁業技術の改良普及に関すること
- 水産動物の防疫等指導に関すること
- 水産物の利用加工等指導に関すること
- 漁場環境保全・赤潮防止技術に関すること
- その他水産業の技術指導に関すること

2. 試験研究課題(1/2)
水産研究部所管分

水産研究部					
試験研究課題名		担当	連携	研究	予算
大課題、 1中課題 ・研究項目		チーム	機関	期間	区分
「・研究項目」以下の区分: 1)、(1)、					
構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発					
1 構造改革の更なる加速のための技術開発					
・ 複合養殖に向けたヒラメサ種苗生産技術開発				H31(R1)該当無し	
・ 養殖生産の低コスト化・成長制御					
1) ヒラメ陸上養殖生産振興事業(LEED)		養殖環境		H29~31	
・ 養殖手法・施設の改善				H31(R1)該当無し	
・ 流通改善・輸出促進支援研究				H31(R1)該当無し	
2 ブランド化のための技術開発					
・ ヒラメの高水温耐性品種の作出(期)				H31(R1)該当無し	
・ 養殖生産物の品質改善					
1) 高品質かぼす養殖魚創出事業		養殖環境	高知大学、別府大学、大分大学	H30~32	県単
・ 生産物の品質評価技術確立				H31(R1)該当無し	
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発					
・ プリ類養殖業成長産業化促進事業(人工種苗生産技術の向上)		資源増殖		H30~R2	県単(令達)
・ マグロ種苗生産技術開発				H31(R1)該当無し	
・ 新規養殖対象種の種苗生産と養殖技術の開発				H31(R1)該当無し	
・ 養殖魚の抗病性強化法・新規ワクチン開発					
1) 魚病リスク回避型養殖技術開発研究					
(1) 魚病リスク回避型養殖技術開発研究		養殖環境	九州大学	H29~31	県単
(2) 魚病リスク回避型養殖技術開発研究(粘液胞子虫対策)		養殖環境		H29~31	諸経費委託
(3) 魚病リスク回避型養殖技術開発研究(レンサ対策)		養殖環境		H29~31	国庫補助
2) ヒラメ陸上養殖生産振興事業(クドア)		養殖環境		H29~31	県単(令達)
3) 水産資源回復強化事業(種苗検査)		養殖環境		H25~	県単(令達)
4) プリ類養殖業成長産業化促進事業(輸出プリ生産手法)				H31(R1)該当無し	
5) 浅海養殖推進事業(クルマエビのPAV対策)				H31(R1)該当無し	
・ 養殖魚の寄生虫防除法開発					
1) 安心安全で環境に優しい養殖推進事業(はだむし対策)		養殖環境	海洋大	H19~	
・ 鮮度保持技術開発					
1) 生鮮水産物の高品質化技術開発事業(酸素充填)		養殖環境	(国研)水産研究・教育機構	R1~2	諸経費委託
4 力強い担い手を育成するための技術開発					
・ 資源に関する基礎調査(モニタリング調査)					
1) 資源評価関係調査		資源増殖	(国研)水産研究・教育機構	H12~	諸経費委託
2) 資源・漁獲情報ネットワークの構築		資源増殖	(国研)水産研究・教育機構	H30~33	諸経費委託
・ 豊予海峡周辺海域におけるマアジ・マサバの資源生態に関する研究		資源増殖		H29~	県単・諸経費委託
・ タチウオ資源回復推進に関する研究		資源増殖	(国研)水産研究・教育機構	H26~	県単(令達)
1) タチウオ資源回復に向けた受精卵放流および種苗生産技術の開発		資源増殖		H30~R2	県単
・ 釣り漁業における新たな漁法の開発				H31(R1)該当無し	
・ アオリイカの資源生態研究				H31(R1)該当無し	
・ ハモの資源生態研究				H31(R1)該当無し	
・ プリの資源生態研究				H31(R1)該当無し	
1) 戦略魚種ハモ資源管理対策事業		資源増殖		H28~30	県単(令達)
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発					
・ 磯焼け対策に関する技術開発(モニタリング調査)		資源増殖		H16~	県単
・ 赤潮・貝毒被害防止技術の開発					
1) 漁場環境改善推進事業のうち赤潮被害防止対策技術の開発					
(1) 赤潮防除・被害軽減手法の開発		養殖環境	(国研)水産研究・教育機構	H30~34	諸経費委託
2) 麻痺性貝毒の危機分析法の高度化およびスクリーニング法の開発		養殖環境	(国研)水産研究・教育機構	H29~31	諸経費委託
3) ICTの活用と農水連携による赤潮対策技術の開発		養殖環境		H30~32	県単(令達)
4) 低水温期発生型赤潮対策強化事業		養殖環境		H31該当無し	
4) 漁場環境保全推進事業(赤潮・貝毒発生監視)		養殖環境			県単(令達)
5) 水産業改良普及事業(技術改良適応化試験)		養殖環境		R1	県単(令達)
6) 養殖マグロ成長産業化推進事業		養殖環境		R1~R3	県単(令達)
・ 無給餌養殖・水産植物利用の推進				H31(R1)該当無し	
・ 環境保全に関する研究				H31(R1)該当無し	
・ 未利用水産物の有効利用研究				H31(R1)該当無し	
研究を支える基礎調査と優良種苗管理					
・ 基盤整備・栽培漁業・資源回復の推進に関する基礎調査		資源増殖		H26~	県単(令達)
・ 資源環境に関するデータの収集・情報の提供(情報提供事業)		資源増殖	(国研)水産研究・教育機構	長期	県単委託
・ 持続的養殖生産確保推進事業(海面防疫対策)(指導事業)		養殖環境		H12~	国庫補助
・ 養殖漁場の適正利用推進調査(モニタリング事業)					
1) 養殖漁場の適正利用推進調査(モニタリング事業)		養殖環境		H12~	県単(令達)
2) 浅海養殖推進事業(クルマエビ環境調査)		養殖環境		H31該当無し	
・ 漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業(赤潮モニタリング)		養殖環境	(国研)水産研究・教育機構	H30~34	諸経費委託
・ 水産加工品等高度利用化指導(指導事業)		養殖環境		S61~	県単(令達)

2. 試験研究課題(2/2)
水産研究部 北部水産グループ所管分

水産研究部 北部水産グループ		担当	連携	研究	予算
試験研究課題名		チーム	機関	期間	区分
大課題、1中課題・研究項目					
「・研究項目」以下の区分: 1)、(1)、					
構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発					
1 構造改革の更なる加速のための技術開発					
・海藻(ヒジキ、クロメ、ワカメ等)の新たな養殖技術開発					
1) 人工種苗ロープの開発によるヒジキ養殖技術の確立		養殖環境		H30~R2	県単
・クルマエビ養殖場を利用したアサリ養殖				R1該当無し	
2 ブランド化のための技術開発					
・養殖生産物の品質改善				R1該当無し	
1) おおいた農産品を利用して抗病性を高める飼料開発				R1該当無し	
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発					
・カレイ類の生活史循環とその阻害要因の解明				R1該当無し	
・ナマコおよびアサリ等二枚貝の種苗生産技術開発					
1) 高級二枚貝タイラギの種苗生産・増養殖技術・母貝団地造成技術の開発		資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H27~32	県単委託
・新規養殖種及び増養殖手法の探索					
1) キジハタ種苗生産技術の開発		資源増殖		H30~R4	県単
・海藻類、カキ類、エビ類の種苗生産技術及び養殖技術の研修・指導					
1) クロメ養殖推進事業		養殖環境		H29~	県単
2) マガキ養殖システムの確立		資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H30~R2	委託
3) クルマエビ養殖生産向上を目指した環境モニタリング		資源増殖 養殖環境		H30~R2	県単
・北部水域における魚病診断及び魚病対策の研究		養殖環境	養殖環境	H12~	国庫補助
4 力強い担い手を育成するための技術開発					
・二枚貝の資源動向の把握および回復施策の検討					
1) 地域重要魚貝類の資源動向及び回復施策に関する研究		資源増殖		長期	県単
・ヒジキ資源維持増大技術の開発		養殖環境		H29~31	県単
・資源に関する基礎調査(モニタリング調査)					
1) 資源管理関係事業		資源増殖		-	県単
2) 資源評価関係調査		資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H12~	委託
3) 資源・漁獲情報ネットワークの構築		資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H30~R3	委託
・ハモの資源生態研究				R1該当無し	
・ガザミの資源生態研究				R1該当無し	
・ヨシエビ、シャコ、カレイ類等の資源動向調査		資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	-	委託
・資源保護のための漁具改良				R1該当無し	
・主要河川におけるアユ資源の有効利用手法の開発		養殖環境		R1~R2	県単
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発					
・アサリ天然稚貝の利用と資源回復推進に関する研究					
1) 母貝としての天然稚貝の有効活用・養殖拡大の実証		資源増殖		H30~R2	県単
・海域の栄養塩等と生物生産に関する研究				R1該当無し	
・赤潮・貝毒被害防止技術の開発		養殖環境	(国研)水産研究・教育機構、関係県	-	県単委託
・水産生物を利用した環境改善技術の開発					
1) ナマコの放流技術の向上と環境浄化機能の現場検証		資源増殖		H29~R1	県単
・有害生物被害対策					
1) 外来魚・カワウ等による食害被害軽減対策指導		養殖環境		長期	県単
・陸封アユ有効利用手法の開発				R1該当無し	
1) 三隈川水系におけるアユの生息環境の把握と陸封アユ有効利用手法の開発				R1該当無し	
研究を支える基礎調査と優良種苗管理					
・豊前海アサリ資源量調査					
1) ナルトビエイ出現調査		資源増殖		-	委託
・基盤整備・栽培漁業・資源回復の推進に関する基礎調査		資源増殖		-	県単
・資源環境に関するデータの収集、情報の提供(浅海定線調査、情報提供等)		資源増殖 養殖環境	(国研)水産研究・教育機構、関係県	長期	県単委託
・天然アユ等のモニタリング					
1) 漁場環境・水生生物に関するモニタリング調査(アユ等)		養殖環境		H21~	県単
2) 海域でのうなぎ生息調査事業				R1該当無し	
・河川環境モニタリング					
1) 漁場環境保全推進事業(内水面)		養殖環境		H22~	県単
・持続的養殖生産確保推進事業(北部水域)(指導事業)					
1) 魚病診断と対策指導		養殖環境	養殖環境	H12~	国庫補助

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
おおいたアクアニュース No.49	R元.9.3	14	25
おおいたアクアニュース No.50	R2.2.17	16	25

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
中尾拓貴・横山純一・竹尻浩平、他	中央ブロック資源動向調査における資源評価	黒潮の資源海洋研究	第21号	9-14
横山純一・内海訓弘	大分県の豊後水道におけるアオリイカの外套背長組成と成熟	黒潮の資源海洋研究	第21号	101-105
後藤直登、橋田大輔、中尾拓貴、富山毅	豊後水道におけるマサバとゴマサバの出現様式	日本水産学会誌	in press	
Satoshi Kawato, Keigo Kobayashi, Sho Shirakashi, Soetsu Yanagi, <u>Yutaka Fukuda</u> , Hirofumi Yamashita, Reiko Nozaki, Ikuo Hirono and Hidehiro Kondo	Phylogenetic analysis with complete mitochondrial genome sequences of <i>Benedenia seriolae</i> specimens derived from Japanese <i>Seriola spp.</i>	Fish Pathology	54(2)	27-33
Yasuyuki Miyoshi, <u>Yutaka Fukuda</u> and Kazuo Ogawa	Skin injuries contribute to nocardiosis in Japanese amberjack <i>Seriola quinqueradiata</i>	Fish Pathology	54(3)	64-67
高橋明義、清水大輔、都留久美子、木藪仁和、水澤寛太	緑色光照射によるホンガレイとヒラメの成長促進	アクアネット	22(4)	44-49
福田穰	近年の海産魚類養殖における魚病対策の変化(1)ブリ類の感染症	アクアネット	22(7)	42-46
福田穰	近年の海産魚類養殖における魚病対策の変化(2)ヒラメの感染症を中心に	アクアネット	22(9)	56-59
福田穰	近年の海産魚類養殖における魚病対策の変化(3)(最終回)抗菌剤の使用	アクアネット	22(11)	42-46
Satoshi Katayama, <u>Hidetoshi Yamada</u> , Keiichi Onodera, Yoshio Masuda	Age and growth from Oita and Miyagi Prefectures of Japanese jack mackerel <i>Trachurus japonicus</i>	FISHERIES SCIENCE	85	475-481
山本宗一郎、伊藤龍星、佐藤允昭	周防灘南部海域におけるマコガレイの産卵場と成熟状況	水産増殖	66(3)	217-226
Ryoshiro Wakiya, Kenzo Kaifu, <u>Kazuhiisa Azechi</u> , Katsumi Tsukamoto, Noritake Mochioka	Evaluation of downward movements of Japanese eel <i>Anguilla japonica</i> inhabiting brackish water areas	Journal of Fish Biology	96(2)	516-526

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R1.10.3	令和元年度中央ブロック資源海洋調査研究会	横山純一	大分県の豊後水道におけるアオリイカの外套背長組成と成熟について
R1.9.9	令和元年度日本水産学会秋季大会	深田陽久, 泉水彩花, 木本圭輔, 都留久美子, 木藪仁和	HK L-137添加飼料によるブリの免疫賦活作用の確認と検証
R2.1.9	赤潮の予測に向けた観測とモデリング	井口大輝	ICT技術による <i>Karenia mikimotoi</i> 赤潮の監視強化
R2.3.26	令和2年度日本水産学会水産増殖懇話会第1回講演会 光が彩るヒラメ・カレイ類養殖	都留久美子	ヒラメ養殖における緑色光の照射効果
R2.3.28	令和2年度日本水産学会春季大会	井口大輝, 中里礼太, 島崎洋平, 吉田光男, 本田清一郎, 大嶋雄治	光学式有害プランクトン検出センサーを用いた <i>Karenia mikimotoi</i> の連続現場モニタリングの有用性評価
R1.11.7	生産環境部会・資源生産部会合同部会主催シンポジウム	山田英俊	アサリ人工種苗生産における低塩分飼育法の有効性の検証と大型水槽への応用
R1.11.8	瀬戸内ブロック水産業関係研究開発推進会議生産環境部会 藻類情報交換会	伊藤龍星	定点カメラがとらえたブリによる造成クロメ藻場の衰退?
R1.11.28	日本DNA多型学会	玉城泉也・藤吉英次・阿部真比古・小林正裕・松岡聡・濱竹芳久・山下博和・伊藤龍星・原朋之	日本各地から採集した希少アマノリ類 <i>Pyropia kuni edae</i> およびイチマツノリ <i>Pyropia seriata</i> (紅藻綱ウシケノリ目)のDNA分析
R1.12.21	第9回大分県自然環境研究発表会	伊藤龍星	大分県で見られる食用希少藻類カワノリ
R2.3.10	日本藻類学会	伊藤龍星, 飯間雅文	大分県における希少淡水大型藻カワノリの成育状況
R2.3.29	令和2年度日本水産学会春季大会	山田英俊, 尾上静正	杵築市守江湾における2~3mmサイズの人工種苗と9mm目目の被覆網を用いたアサリ育成

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和元年度 第1回 農林水産研究指導センター 研究状況報告会 (緑色LED光を利用したヒラメ養殖の効率化)	R元.9.10	県庁舎本館9階 91会議室	1	47
令和元年度 第2回 農林水産研究指導センター 研究状況報告会 (ころばぬ先の資源管理 ~ハモのモデルケース~)	R元.12.20	県庁舎本館9階 91会議室	1	44
令和元年度 農林水産部普及活動・研究成果報告会 (ころばぬ先の資源管理 ~ハモのモデルケース~)	R2.1.20	県庁舎本館4階 第一応接室	1	
令和元年度大分県水産関係研究者連絡協議会研究発表会	R元.1.30~ 31	ホルトホール 大分	15	67

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H31.4.24	大分県漁業士連絡協議会底曳き網漁業部会	宇佐市	20	大分県漁業士連絡協議会底曳き網漁業部会
R1.5.15	瀬戸内海かれい広域牧場推進事業説明会	日出町	21	大分県漁業公社
R1.5.20	佐伯湾 赤潮講習会	JF大分 佐伯支店	8	大分県漁協青年部
R1.5.30	赤潮意見交換会	水産研究部	14	漁業管理課
R1.6.6	魚病赤潮担当者会議	水産研究部	30	水産研究部養殖環境チーム
R1.6.14	臼杵・津久見 赤潮研修会	大分県臼杵 土木事務所	15	中部振興局
R1.7.4	臼津まき網青年部魚群調査法講習	JF大分 津久見支店	7	主催：臼津まき網青年部、中部局要請
R1.7.5	魚類養殖講習会	JF大分 佐伯支店	60	大分県水産養殖協議会
R1.7.9	豊後水道北部海区漁業運営委員長・3市水産主務課長連絡会議	大分県臼杵 土木事務所	21	主催：水産研究部
R1.7.9	豊前海地区漁業運営委員長及び市水産主務課長会議	北部水産グループ	20	主催：北部水産グループ
R1.7.12	豊後水道南部海区漁業運営委員長・市水産主務課長連絡会議	大分県佐伯 総合庁舎	22	主催：水産研究部
R1.7.12	東国東・別府湾地区漁業運営委員長及び市町村水産主務課長会議	大分県日出 総合庁舎	31	主催：北部水産グループ
R1.7.23	豊後別府湾ちりめん協議会総会	JF大分 別府支店	15	主催：豊後別府湾ちりめん協議会 事務局：大分県漁業協同組合
R1.7.29	注射ワクチン接種技術講習会	佐伯市鶴見	13	大分県水産養殖協議会
R1.8.1	大分をつなぎ、つむぐキャリアフォーラム	大分市	11	大分県教育委員会
R1.8.3	少年少女科学体験スペースオーラボ 科学体験講座	大分市	32	大分県教育委員会
R1.9.14	別府湾漁業青年協議会交流研修会	別府市	27	別府湾漁業青年協議会
R1.9.20	愛媛県・大分県タチウオ釣り漁業者意見交換会	三崎漁協	26	漁業管理課
R1.10.2	試験結果報告会	豊後高田市	5	大分県漁協香々地支店青年部
R1.10.10	魚群調査法現地指導	深長津漁港	3	主催：臼津まき網青年部、中部局要請
R1.10.10	大分県漁業学校	姫島村	2	水産振興課
R1.11.6	大分県漁業学校(魚類海藻生態学)	水産研究部	2	大分県漁業協同組合
R1.11.6	大分県漁業学校(魚類・海藻生態学、漁場環境調査・赤潮診断技術)	水産研究部	2	水産振興課
R1.11.25	トラフグ養殖部会講習会	JF大分 下入津支店	15	大分県水産養殖協議会
R1.11.28	大分県漁業学校(栽培漁業・漁場整備)	水産研究部	1	大分県漁業協同組合
R1.11.28	大分県漁業学校(水産資源調査)	水産研究部	1	大分県漁業協同組合
R1.12.2	内水面魚病講習会	別府市	38	北部水産グループ
R1.12.19	大分県漁業学校	北部水産 グループ	2	水産振興課
R1.12.22	中津干潟アカデミア研究発表会	中津市	30	NPO法人水辺に遊ぶ会
R2.1.14	農林水産業振興計画の変更および今後の水産施策に関する意見交換会	宇佐市	24	農林水産企画課
R2.1.15	農林水産業振興計画の変更および今後の水産施策に関する意見交換会	国東市	12	農林水産企画課
R2.2.6	水産教室	臼杵市 泊ヶ内	16	主催：大分県漁業史連絡協議会潜水部会
R2.2.7	東国東漁業青年協議会学習会	豊泉荘	18	主催：東国東漁業青年協議会
R2.2.7	漁業土育苗講座	水産研究部	2	水産振興課
R2.2.7	東国東漁業青年協議会学習会	別府市	19	東国東漁業青年協議会
R2.2.12	大分県漁業士養成講座	佐伯市	5	水産振興課
R2.2.15	周防灘小型底びき網漁業者検討会	宇佐市	14	大分県漁協
R2.2.19	豊後灘海面利用地区協議会	国東市	10	豊後灘海面利用地区協議会
R2.3.31	ヒラメ組合講習会	JF大分 下入津支店	10	ヒラメ組合

(2) 受入研修

長期研修受け入れ
該当なし

生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	3	31
団体等職員	8	39
普及指導員	1	2
学生	2	82
児童・生徒	4	23
海外からの視察者	0	0
その他	4	95
計	22	272

大学
小中高校

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
「かぼすブリ」生産体制の拡充	<p>・「かぼすブリ」は柑橘系養殖魚のブランド魚として、県内外に知られ需要も急増している。今後の確固たるブランドの確立と、生産体制の拡充のため、以下の検討を行う。</p> <p>・柑橘系養殖魚は他県でも類似品が出始めている。ブランド化・他県との差別化をより明確にするため、カボス投与の効果の数値化を進める。</p> <p>・カボスパウダーをEPへ附着した給餌試験を行い、有効性を検証した。</p>	<p>カボス投与効果の数値化</p> <p>・かぼすブリの脂肪酸分析について4月に高知大学と、臭気成分分析について6月に別府大学と協議し、4月から試験魚の飼育を開始した。</p> <p>・当初、パウダーをEPへ附着させる予定であったが、カボスペーストの要望が強く、試験を変更することになり、7月に試験魚を追加した。</p> <p>・EP展着試験では、リモン濃度はパウダー区と同等であったが、血合筋の褐変抑制効果は見られなかった。</p> <p>生産体制の拡充</p> <p>・8月に関係JFと生産者でかぼすブリ・ヒラメ販売促進協議会を開催し、生産期間中に生産・流通指導を実施し、10月の出荷前品質検査に合格した。</p> <p>・平成31年「かぼすブリ」生産量は、3月末現在で、720tと推定されている(漁業管理課データ)。</p>
ヒジキ増養殖の普及	<p>ヒジキ採取量は増加傾向にあるが、過剰漁獲による資源の減少が懸念される。そこで、漁業者が現場でできる増養殖手法を確立し、その普及を図る。</p>	<p>・主な地区について建材ブロックやヒジキロープを設置し、経過観察を実施した。</p> <p>・中津地区では2月の調査で沖側のロープで平均30cmほどヒジキを観察した。</p> <p>・宇佐地区では月2回程度観察を行い、2月には50cm近くまでヒジキがのびていた。</p> <p>・米水津は5月に建材ブロックを設置したが、8月に台風等の波浪の影響でブロックが飛散していた。11月に全てのブロックを回収し、今後の取り組みについて検討することとなった。</p> <p>今年度の結果をふまえて、ブロックやロープの設置方法の検討と現地指導を引き続き行う。</p>

農林水産研究指導センター研究部・グループの所在地及び連絡先

組織名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
農林水産研究指導センター(本部)	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2328-8	0974-28-2074	0974-28-2052
農業研究部	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2328-8	0974-22-0670	0974-22-0675
水田農業グループ	872-0103	宇佐市大字北宇佐65	0978-37-1141	0978-37-0036
果樹グループ	873-0511	国東市国東町小原4402	0978-72-0407	0978-72-3402
カボス・中晩柑チーム	879-2413	津久見市大字津久見浦3456	0972-82-2837	0972-82-5322
ナシ・ブドウチーム（ 1 ）	872-0103	宇佐市大字北宇佐65	0978-37-0149	0978-37-1437
花きグループ	874-0844	別府市大字鶴見710-1	0977-66-4706	0977-67-5218
畜産研究部	878-0201	竹田市久住町大字久住3989-1	0974-76-1216	0974-76-1227
豚・鶏チーム	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2328-8	0974-22-0673	0974-22-0980
林業研究部	877-1363	日田市大字有田字佐寺原35	0973-23-2146	0973-23-6769
きのこグループ	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2369	0974-22-4236	0974-22-6850
水産研究部	879-2602	佐伯市上浦大字津井浦194-6	0972-32-2155	0972-32-2156
浅海・内水面グループ（ 2 ）	879-0608	豊後高田市呉崎3386	0978-22-2405	0978-24-3061
内水面チーム（ 3 ）	872-0504	宇佐市安心院町荘42	0978-44-0329	0978-34-4050

- （ 1 : 平成31年（2019年）4月26日より「落葉果樹チーム」に改称）
 （ 2 : 平成31年（2019年）4月26日より「北部水産グループ」に改称）
 （ 3 : 平成31年（2019年）3月31日施設廃止、4月25日組織廃止）

平成31（令和元）年度
 （2019年度）
 大分県農林水産研究指導センター業務年報

令和2年（2020年）10月発行

編集
 発行 大分県農林水産研究指導センター
 〒879-7111
 豊後大野市三重町赤嶺2328-8
 TEL 0974-28-2074
 FAX 0974-28-2052